聖約全書使徒パウロ、ロマ人に贈れる書

一　安置所のイエスキリストの僕パウロ召されて使徒となり神の福音の為に選ばれ

二　この福音は神より其預言者たちに託て聖書に預ひ給へるものにて

三　其子われらの主イエスキリストを指て宣せり肉体に於ては大衛の苗裔

四　聖潔の霊に於ては死人の中より復活し給ひしにより能力に於て神の子たることを顕

五　われら我より恩寵と使徒の職を受これ其名の為に諸国の人々を

六　して信仰の道に従かせんと欲す　諸国も其人々の中に在てイエスキリストの

七　召なる者なり　我すべてロマに在ところの神に愛されて聖徒に召れ

　　たる者にまで書を送る願はくは我等の父なる神および主イエスキリ

八　ストより恩寵と平和を受よ○　先なんぢらの信仰を世こゝかりて聞たるが

九　故にイエスキリストに倚て世界の人に我心が時に感謝す　我うの子の福

十　音に於て心を尽て事る所の神は我が不断なんぢらを憶ふ其證なり　われ祈

　　禱ごとに絶にへ神の聖意に順ひて平坦なる路を久遠に福音に順んこと

ア 詩十五〇分九節二
十一 なぶむ　われ聞きなれんことを深く願へり聞きを聞かせん我に恐の聞んず
十二 へんと欲へば也　即ち我なんぢらの中に在れ互の信仰によりて相共に安
イ 詩十六〇分一節二
十三 慰を得べし　兄弟よ我汝らに知らんことを願ふ　他の異人の中に在
ごとく異邦の中よりも果を得んとせしかども今に至りて妨げらるる此を
異邦が知るを欲よす　我へヘリシヤ人及び野蛮人また智人および愚人
ウ 詩十七〇分七節一〇
ア 詩十七〇分七節一〇
十四 にし負る所あり　是故に我力を盡して羅馬にある人々にも福
十五 んことを願ふ　我へ福音を恥とせず　そは福音へヘリシヤ人すべて信ずるを救んとの神の大能たればも　神の義へ此に顯れて信仰より
エ 詩一〇十八節一〇
十六 信仰に至れり然して義人は信仰によりて生ぶべしとあるが如し○
オ 詩一〇十八節一〇
十七 それ神の怒へ不義をして眞理を抑る人々の凡の不敬不義に向て天より顯る
カ 詩一〇十八節一〇
十八 義人の如べき所の神の事情へ人に明にして顯に神これを人に顯し給へば也
十九 それ人の見ざる所の神の永遠の能と神たるとは世の始より作られたる物によ
十二 りて明に見へ悟られて明に見へ也是故に人々は論ふべからずいたづ

マ 第十七節の十字 氣 第十八節の十字 ヒ 第十八節の十字 ヤ 第十九節の一節、第一 フ 第廿節の廿字 第廿一節の十字 コ 第廿一節の十字 第廿二節の廿字 エ 第廿三節の十字 タ 第廿三節の十字 ア 第廿四節の十字 第廿五節の廿字 サ 第廿五節の十字 ヘ 第廿六節の廿字 第廿七節の十字 メ 第廿七節の廿字 第廿八節の十字

二二 既に神を知て尊これを神と歌めず亦謝することをせず反て其思念を亂し
二三 其愚なる心家暗なれり 自ら智と稱へて愚昧なる者となり 朽壞ざる神
の榮光を捨て朽壞べき人及び禽獸、走獸の像に似す 是故に神へ彼等を
二四 其心の慾る儘欲にするに任せて互に其身を辱しむる汚穢に任せり 彼等
二五 へ神の眞を易て僞となし造物主よりも受造物を歌かりて之に事ふ神へ
永遠頌美べきもの也アメン 此に縁て神へ彼等が歌べき慾をなすに任
二六 せ給へり其婦女さへも婦性の用を棄て逆性の用となす 此の如く男子へ
二七 亦婦女の婦性の用を棄て互に嗜慾の心を燃も男と男と恥ることをなして
其悖戾に當るべき報を己が身に受たり かれらの中に神を存ることを厭さ
二八 れ不神し彼等が邪僞なる心を棄て利まじきことを行に任せ給へり 慾の
二九 不義、貪婪、惡毒を充す者また妬忌、殺戮、鬪爭、詭計、惡意を滿す者 また讒
三〇 言者をなし神を憎む者、侮慢者、傲慢者、誇大者、惡事を發明する者、父母に
三一 不順なる者 凡て此等を行ふ者へ死罪に當るべき神の判定を知てなほ自ら

人へ律法なくして亡び律法ありて罪を犯せる人へ律法に照て審判を受べし　神の前に義と認らるゝは律法を聞て行ふ者にあらず律法を行ふ
十五　者なり　なほ異邦人は律法なくして自ら其心に律法たるゆゑ　律法なくして其心に書たる其証と其
十六　良心と其思ひ或は責め或は弁明して互に相対するを見るなり　われ福音に云るごとく神イエスキリストをもて人の隠れ
たる事を審かん日に成べし○　然しなんぢ人と唱へ律法を持み誇める
十七　なり　なんぢの言ふ所律法に聞て是非を辨へ　自ら盲者の相当時にあ
十八　る者の光　暗きる者の師教育の師と意ひ又律法に教て真理と知べき事との
十九　式を得たりとせば　なんぢ人を教へ自己を教ずるや　なんぢ人に盗む勿れ
二十　と説て自ら盗するや　なんぢ人に姦淫するなかれと誡して自ら姦淫するや
二十一　なんぢ偶像を忌て自ら殿の物を掠すや　なんぢ律法に誇て自ら律法を破
二十二　も神を侮しむる事　神の名人民に誇て異邦人のゆゑに謗られたりと録され

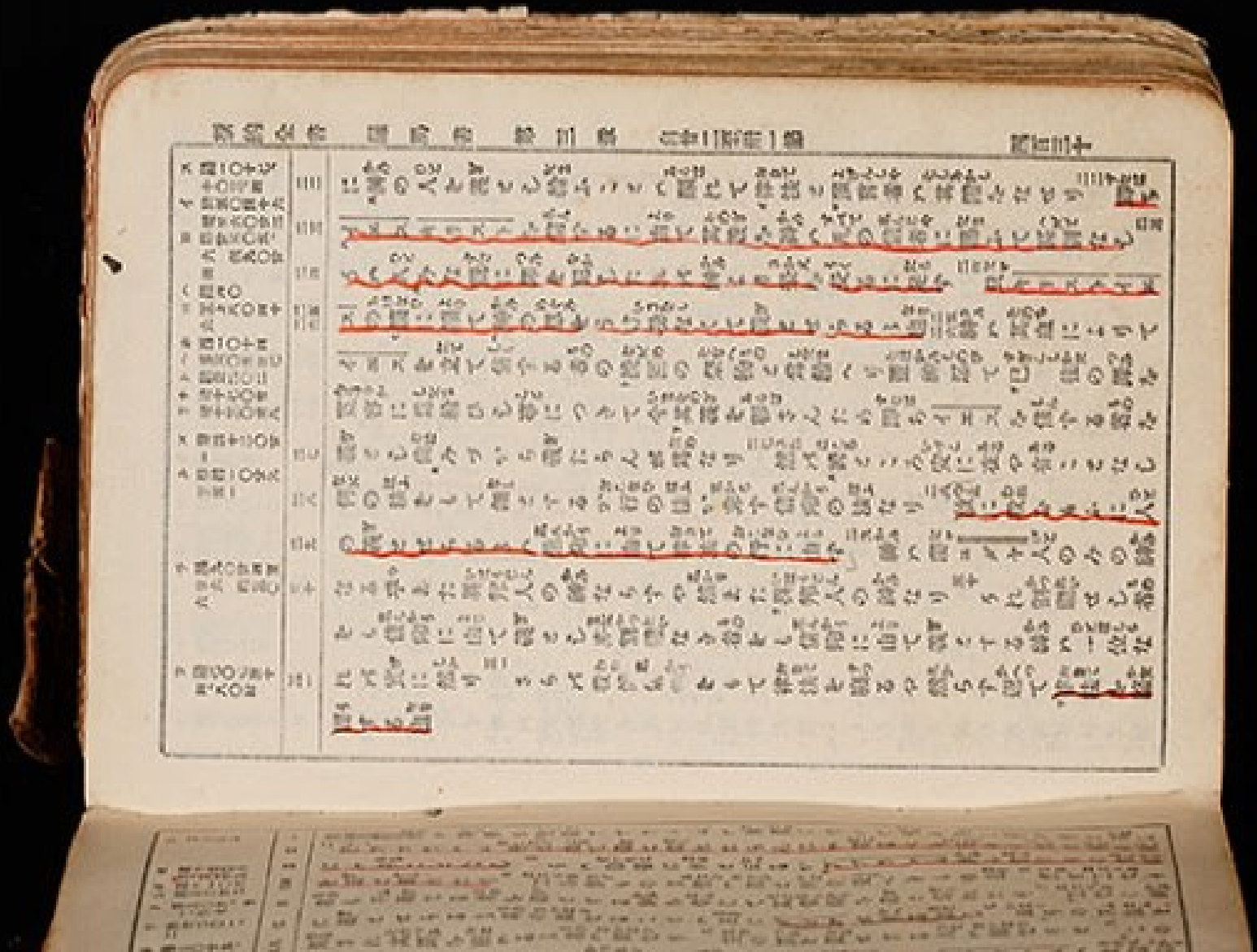
ヲ月三〇二二	廿五	一二	廿六
ヲ月三〇二二	廿五	一二	廿六
ナ月三十九〇	廿六	一三	廿七
ラ女十二〇月十	廿七	一四	廿八
ム月九〇月九八	廿八	一五	廿九
ウ月四五〇六	廿九	一六	三十
ゆ月四八	三十	一七	三一
ノ月四四〇	三一	一八	三二
ク月四〇	三二	一九	三三
ま月九〇月	三三	二〇	三四
ヤ月四〇八	三四	二一	三五
ケ月三〇十二	三五	二二	三六
ヲ月三〇十九	三六	二三	三七
マ月三十〇月	三七	二四	三八
ナ月三〇ゲ	三八	二五	三九
フ月九〇十九	三九	二六	四〇

しが如し　聞もし律法を行へよ割禮へ益あり若し律法を犯さば汝が割禮へ割禮なきが如なるべし　是故に割禮なき者もし律法の義を守らば其へ割禮なきも割禮せりと認ざるを得んや　されば本性のまゝ割禮なくして律法を全うする者へ偏文と割禮とをもて自律法を犯す輩を責めん　明にユダヤ人たるも實のユダヤ人に非ず明に身に割禮あるも實の割禮に非ず　反て隱に[illegible]ユダヤ人たる者へ實のユダヤ人たり又割禮へ心に在て[illegible]の割禮へ眞なり其榮へ人に由ず神に由り

問題四　然らばユダヤ人の長所へ何ぞ或また割禮の益する所へ何ぞ

答　凡の事に於て益あり先第一へ神の言をして彼等に託せること也　然に信ぜざる者あれば其を如何ぞの不信へ神の信を無ものとせん　凡の人を偽とするも神を眞とすべし聞の作る言へ義とせられ裁判るゝとき勝を得んと言されたる如し　我偽が不義もし神の義を顯すことせば我何を行べきか怒を加ふる神へ不義なるや此へ人に由て言のみ　然こと有

七　亡者し然こと有が如く偽して欺なる或かん爲
八　もし我の眞わが榮に因て顯れ其怨恨いや增が我例でなほ罪人と爲れんや　知此あらば其例が誇らるる如く我を惡らせんとて爲を作は宜らずや此を我讀が言と云るおり
九　罪る人の罪せらるる可へ宜なり　然らば如何ら爲われら誇るか決てなし蓋
十　われら既にユダヤ人もギリシヤ人も皆罪の下に在こと論せり　錄して
十一　義人なし一人も有なしとあるが如し　明達者なく神を求る者なし　みな
十二　由て惡くなりたり善を作ものなし一人も有なし　その喉へ開たる墓なり其舌にハ詐の事を弄り　その口へ詛と苦さにて滿ち
十三　その足へ血を流さんが爲に疾し　疾害と苦難へ其途に滿れり　彼等へ平安
十四　なる道を知ず　その目前に神を畏るの心あることなし　られ律法の言さこ
十五　あへ其下にある者の言すと我儕へ知こへ各人の口塞り天下の人こゝ皆て
十六　神の前に罪ある者と定らん爲なり　是律法の行に由て神の前に義と
十七　爲るもの一人として有こなし蓋律法に由て罪へ知るとなり○　今律法の外



一　然へ我們が先祖アブラハムは肉體について何の得し所ありと言んか
二　アブラハム行に由て義と稱られたらんには誇るべき所ありしなれども神の前
三　にはあることなし　聖書に何と云るか　アブラハム神を信じたるの故に
四　義と稱られたり　工なき者に賃銀は恩と視て受べきものなれども工なき
五　者を義とする神を信じて其信仰を義と稱られたり　工なく神
六　義し不義なる者を義とする神を信じて其信仰を義と稱られたり
七　義とせらるゝ者の福なることは正に　ダビデも亦人の不義を
八　免され其罪を償はるゝ者は福なり　主の罪を責ざる人は福なりと　この
九　福は割禮の者にあるか割禮なき者にあるか　我われらアブラハムは其信仰
十　を義と稱られたりと言り　然は如何に義と稱られしか割禮を受し後なるか
十一　はた割禮を受ざる前なるか割禮を受し後ならず割禮を受ざる前にあり
十二　つ割禮の證を受しは義と稱られを受ざる時に信仰に由て義と稱られたる印證
十三　なりはは割禮を受ざる凡の信者の父にして彼等の義とせられん爲なり
十四　また割禮を受る者の父となれり割禮にのみ由ず我們が父アブラハムの信仰

を受ざりし時の信仰の義なり　亞ブラハムと其子孫とに
世界の嗣子たることを得させんとの誓の約束は律法に由に來す信仰の義
に由り　若し律法に屬しの嗣子たることを得ば信仰も虛く約束も無
るべし　ろの怒を來すものは律法なり　律法なくば犯すことも有なも
是故に信仰に由て得させ給ふは恩に由せて其約束なアブラハムの總の子
孫に確固せんがため也たゞ律法を有る者のみならず亦アブラハムの信仰
に效ふ者に及べり　我なんぢを立て多の國民の父となりと錄されたる如
くアブラハムは其信ずる所の神すなはち死し者を生し無もの名を有し如く
翻ふる約の前に於て我が衆人の父たる也　彼は望べくもあらぬ時になほ
望て多の國民の父となんことを信ず爾なんぢの子孫かくの如ならんと言
たまひしに因てなり　彼ろの信仰弱からざれば己が身の既に死るが如きを知り　百歲にして已
の妻の既に死るが如きをも認みず　不信なりて
約の約束を疑ふことなく反て其信仰を強して神を崇め　神は其約束し給ふ

所なきまで成得べしと心におむ　三三是故に其信仰義と認れたり　三四られ信仰に由て義とせられたりと錄されしへ特かれの爲のみならず我われらの爲に錄されし迫我輩しも我主イエスを死より甦らしし給ひ信ぜば同く義とせらるゝ爲なり　二五イエスは我罪に爲わるに渡されたまへり我われらが義と爲られん爲に甦らされたり

一　是故に我信仰に由て義とせられたれば我主イエスキリストに賴てなり　二亦われら彼により信仰にこりて今恩ところの恩に入ることを得かつ神の榮を望て歡喜をなす　三彼これのみならず患難にも歡喜をなせり患難は忍耐を生じ　四忍耐は練達を生じ練達は望を生じ　五望は恥なき樂らせざるなり知こは我心に賜ふ所の聖靈に由て神の愛われらの心に注ぎたれば　六我輩なほ弱かりし時キリスト定りたる其に及て罪人のために死たまへり　七されば義人の爲に死るものは殆どなけれども仁者の爲には死るうるものあらん　八我輩キリストは我罪のなほ

ヲ百歳ニシテ九人ノ子ヲ生ミ
ス 百九十歳ニシテ
イ 百九十一歳ニシテ
ロ 百九十二歳ニシテ
ハ 百九十三歳ニシテ
ニ 百九十四歳ニシテ
ホ 百九十五歳ニシテ
ヘ 百九十六歳ニシテ
ト 百九十七歳ニシテ
チ 百九十八歳ニシテ
リ 百九十九歳ニシテ
ヌ 二百歳ニシテ
ル 二百一歳ニシテ
ヲ 二百二歳ニシテ
ワ 二百三歳ニシテ
カ 二百四歳ニシテ
ヨ 二百五歳ニシテ
タ 二百六歳ニシテ
レ 二百七歳ニシテ
ソ 二百八歳ニシテ
ツ 二百九歳ニシテ
ネ 二百十歳ニシテ
ナ 二百十一歳ニシテ
ラ 二百十二歳ニシテ
ム 二百十三歳ニシテ
ウ 二百十四歳ニシテ
ヰ 二百十五歳ニシテ
ノ 二百十六歳ニシテ
オ 二百十七歳ニシテ
ク 二百十八歳ニシテ
ヤ 二百十九歳ニシテ
マ 二百二十歳ニシテ
ケ 二百二十一歳ニシテ
フ 二百二十二歳ニシテ
コ 二百二十三歳ニシテ
エ 二百二十四歳ニシテ
テ 二百二十五歳ニシテ
ア 二百二十六歳ニシテ
サ 二百二十七歳ニシテ
キ 二百二十八歳ニシテ
ユ 二百二十九歳ニシテ
メ 二百三十歳ニシテ
ミ 二百三十一歳ニシテ
シ 二百三十二歳ニシテ
ヱ 二百三十三歳ニシテ
ヒ 二百三十四歳ニシテ
モ 二百三十五歳ニシテ
セ 二百三十六歳ニシテ
ス 二百三十七歳ニシテ
京 二百三十八歳ニシテ
ン 二百三十九歳ニシテ
ハ 二百四十歳ニシテ
ヤ 二百四十一歳ニシテ
ヒ 二百四十二歳ニシテ
ロ 二百四十三歳ニシテ
ハ 二百四十四歳ニシテ
ニ 二百四十五歳ニシテ
ホ 二百四十六歳ニシテ
ヘ 二百四十七歳ニシテ
ト 二百四十八歳ニシテ
チ 二百四十九歳ニシテ
リ 二百五十歳ニシテ
ヌ 二百五十一歳ニシテ
ル 二百五十二歳ニシテ
ヲ 二百五十三歳ニシテ
ワ 二百五十四歳ニシテ
カ 二百五十五歳ニシテ
ヨ 二百五十六歳ニシテ
タ 二百五十七歳ニシテ
レ 二百五十八歳ニシテ
ソ 二百五十九歳ニシテ
ツ 二百六十歳ニシテ
ネ 二百六十一歳ニシテ
ナ 二百六十二歳ニシテ
ラ 二百六十三歳ニシテ
ム 二百六十四歳ニシテ
ウ 二百六十五歳ニシテ
ヰ 二百六十六歳ニシテ
ノ 二百六十七歳ニシテ
オ 二百六十八歳ニシテ
ク 二百六十九歳ニシテ
ヤ 二百七十歳ニシテ
マ 二百七十一歳ニシテ
ケ 二百七十二歳ニシテ
フ 二百七十三歳ニシテ
コ 二百七十四歳ニシテ
エ 二百七十五歳ニシテ
テ 二百七十六歳ニシテ
ア 二百七十七歳ニシテ
サ 二百七十八歳ニシテ
キ 二百七十九歳ニシテ
ユ 二百八十歳ニシテ
メ 二百八十一歳ニシテ
ミ 二百八十二歳ニシテ
シ 二百八十三歳ニシテ
ヱ 二百八十四歳ニシテ
ヒ 二百八十五歳ニシテ
モ 二百八十六歳ニシテ
セ 二百八十七歳ニシテ
ス 二百八十八歳ニシテ
京 二百八十九歳ニシテ
ン 二百九十歳ニシテ
ハ 二百九十一歳ニシテ
ヤ 二百九十二歳ニシテ
ヒ 二百九十三歳ニシテ
ロ 二百九十四歳ニシテ
ハ 二百九十五歳ニシテ
ニ 二百九十六歳ニシテ
ホ 二百九十七歳ニシテ
ヘ 二百九十八歳ニシテ
ト 二百九十九歳ニシテ
チ 三百歳ニシテ
リ 三百一歳ニシテ
ヌ 三百二歳ニシテ
ル 三百三歳ニシテ
ヲ 三百四歳ニシテ
ワ 三百五歳ニシテ
カ 三百六歳ニシテ
ヨ 三百七歳ニシテ
タ 三百八歳ニシテ
レ 三百九歳ニシテ
ソ 三百十歳ニシテ
ツ 三百十一歳ニシテ
ネ 三百十二歳ニシテ
ナ 三百十三歳ニシテ
ラ 三百十四歳ニシテ
ム 三百十五歳ニシテ
ウ 三百十六歳ニシテ
ヰ 三百十七歳ニシテ
ノ 三百十八歳ニシテ
オ 三百十九歳ニシテ
ク 三百二十歳ニシテ
ヤ 三百二十一歳ニシテ
マ 三百二十二歳ニシテ
ケ 三百二十三歳ニシテ
フ 三百二十四歳ニシテ
コ 三百二十五歳ニシテ
エ 三百二十六歳ニシテ
テ 三百二十七歳ニシテ
ア 三百二十八歳ニシテ
サ 三百二十九歳ニシテ
キ 三百三十歳ニシテ
ユ 三百三十一歳ニシテ
メ 三百三十二歳ニシテ
ミ 三百三十三歳ニシテ
シ 三百三十四歳ニシテ
ヱ 三百三十五歳ニシテ
ヒ 三百三十六歳ニシテ
モ 三百三十七歳ニシテ
セ 三百三十八歳ニシテ
ス 三百三十九歳ニシテ
京 三百四十歳ニシテ
ン 三百四十一歳ニシテ
ハ 三百四十二歳ニシテ
ヤ 三百四十三歳ニシテ
ヒ 三百四十四歳ニシテ
ロ 三百四十五歳ニシテ
ハ 三百四十六歳ニシテ
ニ 三百四十七歳ニシテ
ホ 三百四十八歳ニシテ
ヘ 三百四十九歳ニシテ
ト 三百五十歳ニシテ
チ 三百五十一歳ニシテ
リ 三百五十二歳ニシテ
ヌ 三百五十三歳ニシテ
ル 三百五十四歳ニシテ
ヲ 三百五十五歳ニシテ
ワ 三百五十六歳ニシテ
カ 三百五十七歳ニシテ
ヨ 三百五十八歳ニシテ
タ 三百五十九歳ニシテ
レ 三百六十歳ニシテ
ソ 三百六十一歳ニシテ
ツ 三百六十二歳ニシテ
ネ 三百六十三歳ニシテ
ナ 三百六十四歳ニシテ
ラ 三百六十五歳ニシテ
ム 三百六十六歳ニシテ
ウ 三百六十七歳ニシテ
ヰ 三百六十八歳ニシテ
ノ 三百六十九歳ニシテ
オ 三百七十歳ニシテ
ク 三百七十一歳ニシテ
ヤ 三百七十二歳ニシテ
マ 三百七十三歳ニシテ
ケ 三百七十四歳ニシテ
フ 三百七十五歳ニシテ
コ 三百七十六歳ニシテ
エ 三百七十七歳ニシテ
テ 三百七十八歳ニシテ
ア 三百七十九歳ニシテ
サ 三百八十歳ニシテ
キ 三百八十一歳ニシテ
ユ 三百八十二歳ニシテ
メ 三百八十三歳ニシテ
ミ 三百八十四歳ニシテ
シ 三百八十五歳ニシテ
ヱ 三百八十六歳ニシテ
ヒ 三百八十七歳ニシテ
モ 三百八十八歳ニシテ
セ 三百八十九歳ニシテ
ス 三百九十歳ニシテ
京 三百九十一歳ニシテ
ン 三百九十二歳ニシテ
ハ 三百九十三歳ニシテ
ヤ 三百九十四歳ニシテ
ヒ 三百九十五歳ニシテ
ロ 三百九十六歳ニシテ
ハ 三百九十七歳ニシテ
ニ 三百九十八歳ニシテ
ホ 三百九十九歳ニシテ
ヘ 四百歳ニシテ
ト 四百一歳ニシテ
チ 四百二歳ニシテ
リ 四百三歳ニシテ
ヌ 四百四歳ニシテ
ル 四百五歳ニシテ
ヲ 四百六歳ニシテ
ワ 四百七歳ニシテ
カ 四百八歳ニシテ
ヨ 四百九歳ニシテ
タ 四百十歳ニシテ
レ 四百十一歳ニシテ
ソ 四百十二歳ニシテ
ツ 四百十三歳ニシテ
ネ 四百十四歳ニシテ
ナ 四百十五歳ニシテ
ラ 四百十六歳ニシテ
ム 四百十七歳ニシテ
ウ 四百十八歳ニシテ
ヰ 四百十九歳ニシテ
ノ 四百二十歳ニシテ
オ 四百二十一歳ニシテ
ク 四百二十二歳ニシテ
ヤ 四百二十三歳ニシテ
マ 四百二十四歳ニシテ
ケ 四百二十五歳ニシテ
フ 四百二十六歳ニシテ
コ 四百二十七歳ニシテ
エ 四百二十八歳ニシテ
テ 四百二十九歳ニシテ
ア 四百三十歳ニシテ
サ 四百三十一歳ニシテ
キ 四百三十二歳ニシテ
ユ 四百三十三歳ニシテ
メ 四百三十四歳ニシテ
ミ 四百三十五歳ニシテ
シ 四百三十六歳ニシテ
ヱ 四百三十七歳ニシテ
ヒ 四百三十八歳ニシテ
モ 四百三十九歳ニシテ
セ 四百四十歳ニシテ
ス 四百四十一歳ニシテ
京 四百四十二歳ニシテ
ン 四百四十三歳ニシテ
ハ 四百四十四歳ニシテ
ヤ 四百四十五歳ニシテ
ヒ 四百四十六歳ニシテ
ロ 四百四十七歳ニシテ
ハ 四百四十八歳ニシテ
ニ 四百四十九歳ニシテ
ホ 四百五十歳ニシテ
ヘ 四百五十一歳ニシテ
ト 四百五十二歳ニシテ
チ 四百五十三歳ニシテ
リ 四百五十四歳ニシテ
ヌ 四百五十五歳ニシテ
ル 四百五十六歳ニシテ
ヲ 四百五十七歳ニシテ
ワ 四百五十八歳ニシテ
カ 四百五十九歳ニシテ
ヨ 四百六十歳ニシテ
タ 四百六十一歳ニシテ
レ 四百六十二歳ニシテ
ソ 四百六十三歳ニシテ
ツ 四百六十四歳ニシテ
ネ 四百六十五歳ニシテ
ナ 四百六十六歳ニシテ
ラ 四百六十七歳ニシテ
ム 四百六十八歳ニシテ
ウ 四百六十九歳ニシテ
ヰ 四百七十歳ニシテ
ノ 四百七十一歳ニシテ
オ 四百七十二歳ニシテ
ク 四百七十三歳ニシテ
ヤ 四百七十四歳ニシテ
マ 四百七十五歳ニシテ
ケ 四百七十六歳ニシテ
フ 四百七十七歳ニシテ
コ 四百七十八歳ニシテ
エ 四百七十九歳ニシテ
テ 四百八十歳ニシテ
ア 四百八十一歳ニシテ
サ 四百八十二歳ニシテ
キ 四百八十三歳ニシテ
ユ 四百八十四歳ニシテ
メ 四百八十五歳ニシテ
ミ 四百八十六歳ニシテ
シ 四百八十七歳ニシテ
ヱ 四百八十八歳ニシテ
ヒ 四百八十九歳ニシテ
モ 四百九十歳ニシテ
セ 四百九十一歳ニシテ
ス 四百九十二歳ニシテ
京 四百九十三歳ニシテ
ン 四百九十四歳ニシテ
ハ 四百九十五歳ニシテ
ヤ 四百九十六歳ニシテ
ヒ 四百九十七歳ニシテ
ロ 四百九十八歳ニシテ
ハ 四百九十九歳ニシテ
ニ 五百歳ニシテ
ホ 五百一歳ニシテ
ヘ 五百二歳ニシテ
ト 五百三歳ニシテ
チ 五百四歳ニシテ
リ 五百五歳ニシテ
ヌ 五百六歳ニシテ
ル 五百七歳ニシテ
ヲ 五百八歳ニシテ
ワ 五百九歳ニシテ
カ 五百十歳ニシテ
ヨ 五百十一歳ニシテ
タ 五百十二歳ニシテ
レ 五百十三歳ニシテ
ソ 五百十四歳ニシテ
ツ 五百十五歳ニシテ
ネ 五百十六歳ニシテ
ナ 五百十七歳ニシテ
ラ 五百十八歳ニシテ
ム 五百十九歳ニシテ
ウ 五百二十歳ニシテ
ヰ 五百二十一歳ニシテ
ノ 五百二十二歳ニシテ
オ 五百二十三歳ニシテ
ク 五百二十四歳ニシテ
ヤ 五百二十五歳ニシテ
マ 五百二十六歳ニシテ
ケ 五百二十七歳ニシテ
フ 五百二十八歳ニシテ
コ 五百二十九歳ニシテ
エ 五百三十歳ニシテ
テ 五百三十一歳ニシテ
ア 五百三十二歳ニシテ
サ 五百三十三歳ニシテ
キ 五百三十四歳ニシテ
ユ 五百三十五歳ニシテ
メ 五百三十六歳ニシテ
ミ 五百三十七歳ニシテ
シ 五百三十八歳ニシテ
ヱ 五百三十九歳ニシテ
ヒ 五百四十歳ニシテ
モ 五百四十一歳ニシテ
セ 五百四十二歳ニシテ
ス 五百四十三歳ニシテ
京 五百四十四歳ニシテ
ン 五百四十五歳ニシテ
ハ 五百四十六歳ニシテ
ヤ 五百四十七歳ニシテ
ヒ 五百四十八歳ニシテ
ロ 五百四十九歳ニシテ
ハ 五百五十歳ニシテ
ニ 五百五十一歳ニシテ
ホ 五百五十二歳ニシテ
ヘ 五百五十三歳ニシテ
ト 五百五十四歳ニシテ
チ 五百五十五歳ニシテ
リ 五百五十六歳ニシテ
ヌ 五百五十七歳ニシテ
ル 五百五十八歳ニシテ
ヲ 五百五十九歳ニシテ
ワ 五百六十歳ニシテ
カ 五百六十一歳ニシテ
ヨ 五百六十二歳ニシテ
タ 五百六十三歳ニシテ
レ 五百六十四歳ニシテ
ソ 五百六十五歳ニシテ
ツ 五百六十六歳ニシテ
ネ 五百六十七歳ニシテ
ナ 五百六十八歳ニシテ
ラ 五百六十九歳ニシテ
ム 五百七十歳ニシテ
ウ 五百七十一歳ニシテ
ヰ 五百七十二歳ニシテ
ノ 五百七十三歳ニシテ
オ 五百七十四歳ニシテ
ク 五百七十五歳ニシテ
ヤ 五百七十六歳ニシテ
マ 五百七十七歳ニシテ
ケ 五百七十八歳ニシテ
フ 五百七十九歳ニシテ
コ 五百八十歳ニシテ
エ 五百八十一歳ニシテ
テ 五百八十二歳ニシテ
ア 五百八十三歳ニシテ
サ 五百八十四歳ニシテ
キ 五百八十五歳ニシテ
ユ 五百八十六歳ニシテ
メ 五百八十七歳ニシテ
ミ 五百八十八歳ニシテ
シ 五百八十九歳ニシテ
ヱ 五百九十歳ニシテ
ヒ 五百九十一歳ニシテ
モ 五百九十二歳ニシテ
セ 五百九十三歳ニシテ
ス 五百九十四歳ニシテ
京 五百九十五歳ニシテ
ン 五百九十六歳ニシテ
ハ 五百九十七歳ニシテ
ヤ 五百九十八歳ニシテ
ヒ 五百九十九歳ニシテ
ロ 六百歳ニシテ
ハ 六百一歳ニシテ
ニ 六百二歳ニシテ
ホ 六百三歳ニシテ
ヘ 六百四歳ニシテ
ト 六百五歳ニシテ
チ 六百六歳ニシテ
リ 六百七歳ニシテ
ヌ 六百八歳ニシテ
ル 六百九歳ニシテ
ヲ 六百十歳ニシテ
ワ 六百十一歳ニシテ
カ 六百十二歳ニシテ
ヨ 六百十三歳ニシテ
タ 六百十四歳ニシテ
レ 六百十五歳ニシテ
ソ 六百十六歳ニシテ
ツ 六百十七歳ニシテ
ネ 六百十八歳ニシテ
ナ 六百十九歳ニシテ
ラ 六百二十歳ニシテ
ム 六百二十一歳ニシテ
ウ 六百二十二歳ニシテ
ヰ 六百二十三歳ニシテ
ノ 六百二十四歳ニシテ
オ 六百二十五歳ニシテ
ク 六百二十六歳ニシテ
ヤ 六百二十七歳ニシテ
マ 六百二十八歳ニシテ
ケ 六百二十九歳ニシテ
フ 六百三十歳ニシテ
コ 六百三十一歳ニシテ
エ 六百三十二歳ニシテ
テ 六百三十三歳ニシテ
ア 六百三十四歳ニシテ
サ 六百三十五歳ニシテ
キ 六百三十六歳ニシテ
ユ 六百三十七歳ニシテ
メ 六百三十八歳ニシテ
ミ 六百三十九歳ニシテ
シ 六百四十歳ニシテ
ヱ 六百四十一歳ニシテ
ヒ 六百四十二歳ニシテ
モ 六百四十三歳ニシテ
セ 六百四十四歳ニシテ
ス 六百四十五歳ニシテ
京 六百四十六歳ニシテ
ン 六百四十七歳ニシテ
ハ 六百四十八歳ニシテ
ヤ 六百四十九歳ニシテ
ヒ 六百五十歳ニシテ
ロ 六百五十一歳ニシテ
ハ 六百五十二歳ニシテ
ニ 六百五十三歳ニシテ
ホ 六百五十四歳ニシテ
ヘ 六百五十五歳ニシテ
ト 六百五十六歳ニシテ
チ 六百五十七歳ニシテ
リ 六百五十八歳ニシテ
ヌ 六百五十九歳ニシテ
ル 六百六十歳ニシテ
ヲ 六百六十一歳ニシテ
ワ 六百六十二歳ニシテ
カ 六百六十三歳ニシテ
ヨ 六百六十四歳ニシテ
タ 六百六十五歳ニシテ
レ 六百六十六歳ニシテ
ソ 六百六十七歳ニシテ
ツ 六百六十八歳ニシテ
ネ 六百六十九歳ニシテ
ナ 六百七十歳ニシテ
ラ 六百七十一歳ニシテ
ム 六百七十二歳ニシテ
ウ 六百七十三歳ニシテ
ヰ 六百七十四歳ニシテ
ノ 六百七十五歳ニシテ
オ 六百七十六歳ニシテ
ク 六百七十七歳ニシテ
ヤ 六百七十八歳ニシテ
マ 六百七十九歳ニシテ
ケ 六百八十歳ニシテ
フ 六百八十一歳ニシテ
コ 六百八十二歳ニシテ
エ 六百八十三歳ニシテ
テ 六百八十四歳ニシテ
ア 六百八十五歳ニシテ
サ 六百八十六歳ニシテ
キ 六百八十七歳ニシテ
ユ 六百八十八歳ニシテ
メ 六百八十九歳ニシテ
ミ 六百九十歳ニシテ
シ 六百九十一歳ニシテ
ヱ 六百九十二歳ニシテ
ヒ 六百九十三歳ニシテ
モ 六百九十四歳ニシテ
セ 六百九十五歳ニシテ
ス 六百九十六歳ニシテ
京 六百九十七歳ニシテ
ン 六百九十八歳ニシテ
ハ 六百九十九歳ニシテ
ヤ 七百歳ニシテ
ヒ 七百一歳ニシテ
ロ 七百二歳ニシテ
ハ 七百三歳ニシテ
ニ 七百四歳ニシテ
ホ 七百五歳ニシテ
ヘ 七百六歳ニシテ
ト 七百七歳ニシテ
チ 七百八歳ニシテ
リ 七百九歳ニシテ
ヌ 七百十歳ニシテ
ル 七百十一歳ニシテ
ヲ 七百十二歳ニシテ
ワ 七百十三歳ニシテ
カ 七百十四歳ニシテ
ヨ 七百十五歳ニシテ
タ 七百十六歳ニシテ
レ 七百十七歳ニシテ
ソ 七百十八歳ニシテ
ツ 七百十九歳ニシテ
ネ 七百二十歳ニシテ
ナ 七百二十一歳ニシテ
ラ 七百二十二歳ニシテ
ム 七百二十三歳ニシテ
ウ 七百二十四歳ニシテ
ヰ 七百二十五歳ニシテ
ノ 七百二十六歳ニシテ
オ 七百二十七歳ニシテ
ク 七百二十八歳ニシテ
ヤ 七百二十九歳ニシテ
マ 七百三十歳ニシテ
ケ 七百三十一歳ニシテ
フ 七百三十二歳ニシテ
コ 七百三十三歳ニシテ
エ 七百三十四歳ニシテ
テ 七百三十五歳ニシテ
ア 七百三十六歳ニシテ
サ 七百三十七歳ニシテ
キ 七百三十八歳ニシテ
ユ 七百三十九歳ニシテ
メ 七百四十歳ニシテ
ミ 七百四十一歳ニシテ
シ 七百四十二歳ニシテ
ヱ 七百四十三歳ニシテ
ヒ 七百四十四歳ニシテ
モ 七百四十五歳ニシテ
セ 七百四十六歳ニシテ
ス 七百四十七歳ニシテ
京 七百四十八歳ニシテ
ン 七百四十九歳ニシテ
ハ 七百五十歳ニシテ
ヤ 七百五十一歳ニシテ
ヒ 七百五十二歳ニシテ
ロ 七百五十三歳ニシテ
ハ 七百五十四歳ニシテ
ニ 七百五十五歳ニシテ
ホ 七百五十六歳ニシテ
ヘ 七百五十七歳ニシテ
ト 七百五十八歳ニシテ
チ 七百五十九歳ニシテ
リ 七百六十歳ニシテ
ヌ 七百六十一歳ニシテ
ル 七百六十二歳ニシテ
ヲ 七百六十三歳ニシテ
ワ 七百六十四歳ニシテ
カ 七百六十五歳ニシテ
ヨ 七百六十六歳ニシテ
タ 七百六十七歳ニシテ
レ 七百六十八歳ニシテ
ソ 七百六十九歳ニシテ
ツ 七百七十歳ニシテ
ネ 七百七十一歳ニシテ
ナ 七百七十二歳ニシテ
ラ 七百七十三歳ニシテ
ム 七百七十四歳ニシテ
ウ 七百七十五歳ニシテ
ヰ 七百七十六歳ニシテ
ノ 七百七十七歳ニシテ
オ 七百七十八歳ニシテ
ク 七百七十九歳ニシテ
ヤ 七百八十歳ニシテ
マ 七百八十一歳ニシテ
ケ 七百八十二歳ニシテ
フ 七百八十三歳ニシテ
コ 七百八十四歳ニシテ
エ 七百八十五歳ニシテ
テ 七百八十六歳ニシテ
ア 七百八十七歳ニシテ
サ 七百八十八歳ニシテ
キ 七百八十九歳ニシテ
ユ 七百九十歳ニシテ
メ 七百九十一歳ニシテ
ミ 七百九十二歳ニシテ
シ 七百九十三歳ニシテ
ヱ 七百九十四歳ニシテ
ヒ 七百九十五歳ニシテ
モ 七百九十六歳ニシテ
セ 七百九十七歳ニシテ
ス 七百九十八歳ニシテ
京 七百九十九歳ニシテ
ン 八百歳ニシテ
ハ 八百一歳ニシテ
ヤ 八百二歳ニシテ
ヒ 八百三歳ニシテ
ロ 八百四歳ニシテ
ハ 八百五歳ニシテ
ニ 八百六歳ニシテ
ホ 八百七歳ニシテ
ヘ 八百八歳ニシテ
ト 八百九歳ニシテ
チ 八百十歳ニシテ
リ 八百十一歳ニシテ
ヌ 八百十二歳ニシテ
ル 八百十三歳ニシテ
ヲ 八百十四歳ニシテ
ワ 八百十五歳ニシテ
カ 八百十六歳ニシテ
ヨ 八百十七歳ニシテ
タ 八百十八歳ニシテ
レ 八百十九歳ニシテ
ソ 八百二十歳ニシテ
ツ 八百二十一歳ニシテ
ネ 八百二十二歳ニシテ
ナ 八百二十三歳ニシテ
ラ 八百二十四歳ニシテ
ム 八百二十五歳ニシテ
ウ 八百二十六歳ニシテ
ヰ 八百二十七歳ニシテ
ノ 八百二十八歳ニシテ
オ 八百二十九歳ニシテ
ク 八百三十歳ニシテ
ヤ 八百三十一歳ニシテ
マ 八百三十二歳ニシテ
ケ 八百三十三歳ニシテ
フ 八百三十四歳ニシテ
コ 八百三十五歳ニシテ
エ 八百三十六歳ニシテ
テ 八百三十七歳ニシテ
ア 八百三十八歳ニシテ
サ 八百三十九歳ニシテ
キ 八百四十歳ニシテ
ユ 八百四十一歳ニシテ
メ 八百四十二歳ニシテ
ミ 八百四十三歳ニシテ
シ 八百四十四歳ニシテ
ヱ 八百四十五歳ニシテ
ヒ 八百四十六歳ニシテ
モ 八百四十七歳ニシテ
セ 八百四十八歳ニシテ
ス 八百四十九歳ニシテ
京 八百五十歳ニシテ
ン 八百五十一歳ニシテ
ハ 八百五十二歳ニシテ
ヤ 八百五十三歳ニシテ
ヒ 八百五十四歳ニシテ
ロ 八百五十五歳ニシテ
ハ 八百五十六歳ニシテ
ニ 八百五十七歳ニシテ
ホ 八百五十八歳ニシテ
ヘ 八百五十九歳ニシテ
ト 八百六十歳ニシテ
チ 八百六十一歳ニシテ
リ 八百六十二歳ニシテ
ヌ 八百六十三歳ニシテ
ル 八百六十四歳ニシテ
ヲ 八百六十五歳ニシテ
ワ 八百六十六歳ニシテ
カ 八百六十七歳ニシテ
ヨ 八百六十八歳ニシテ
タ 八百六十九歳ニシテ
レ 八百七十歳ニシテ
ソ 八百七十一歳ニシテ
ツ 八百七十二歳ニシテ
ネ 八百七十三歳ニシテ
ナ 八百七十四歳ニシテ
ラ 八百七十五歳ニシテ
ム 八百七十六歳ニシテ
ウ 八百七十七歳ニシテ
ヰ 八百七十八歳ニシテ
ノ 八百七十九歳ニシテ
オ 八百八十歳ニシテ
ク 八百八十一歳ニシテ
ヤ 八百八十二歳ニシテ
マ 八百八十三歳ニシテ
ケ 八百八十四歳ニシテ
フ 八百八十五歳ニシテ
コ 八百八十六歳ニシテ
エ 八百八十七歳ニシテ
テ 八百八十八歳ニシテ
ア 八百八十九歳ニシテ
サ 八百九十歳ニシテ
キ 八百九十一歳ニシテ
ユ 八百九十二歳ニシテ
メ 八百九十三歳ニシテ
ミ 八百九十四歳ニシテ
シ 八百九十五歳ニシテ
ヱ 八百九十六歳ニシテ
ヒ 八百九十七歳ニシテ
モ 八百九十八歳ニシテ
セ 八百九十九歳ニシテ
ス 九百歳ニシテ
京 九百一歳ニシテ
ン 九百二歳ニシテ
ハ 九百三歳ニシテ
ヤ 九百四歳ニシテ
ヒ 九百五歳ニシテ
ロ 九百六歳ニシテ
ハ 九百七歳ニシテ
ニ 九百八歳ニシテ
ホ 九百九歳ニシテ
ヘ 九百十歳ニシテ
ト 九百十一歳ニシテ
チ 九百十二歳ニシテ
リ 九百十三歳ニシテ
ヌ 九百十四歳ニシテ
ル 九百十五歳ニシテ
ヲ 九百十六歳ニシテ
ワ 九百十七歳ニシテ
カ 九百十八歳ニシテ
ヨ 九百十九歳ニシテ
タ 九百二十歳ニシテ
レ 九百二十一歳ニシテ
ソ 九百二十二歳ニシテ
ツ 九百二十三歳ニシテ
ネ 九百二十四歳ニシテ
ナ 九百二十五歳ニシテ
ラ 九百二十六歳ニシテ
ム 九百二十七歳ニシテ
ウ 九百二十八歳ニシテ
ヰ 九百二十九歳ニシテ
ノ 九百三十歳ニシテ
オ 九百三十一歳ニシテ
ク 九百三十二歳ニシテ
ヤ 九百三十三歳ニシテ
マ 九百三十四歳ニシテ
ケ 九百三十五歳ニシテ
フ 九百三十六歳ニシテ
コ 九百三十七歳ニシテ
エ 九百三十八歳ニシテ
テ 九百三十九歳ニシテ
ア 九百四十歳ニシテ
サ 九百四十一歳ニシテ
キ 九百四十二歳ニシテ
ユ 九百四十三歳ニシテ
メ 九百四十四歳ニシテ
ミ 九百四十五歳ニシテ
シ 九百四十六歳ニシテ
ヱ 九百四十七歳ニシテ
ヒ 九百四十八歳ニシテ
モ 九百四十九歳ニシテ
セ 九百五十歳ニシテ
ス 九百五十一歳ニシテ
京 九百五十二歳ニシテ
ン 九百五十三歳ニシテ
ハ 九百五十四歳ニシテ
ヤ 九百五十五歳ニシテ
ヒ 九百五十六歳ニシテ
ロ 九百五十七歳ニシテ
ハ 九百五十八歳ニシテ
ニ 九百五十九歳ニシテ
ホ 九百六十歳ニシテ
ヘ 九百六十一歳ニシテ
ト 九百六十二歳ニシテ
チ 九百六十三歳ニシテ
リ 九百六十四歳ニシテ
ヌ 九百六十五歳ニシテ
ル 九百六十六歳ニシテ
ヲ 九百六十七歳ニシテ
ワ 九百六十八歳ニシテ
カ 九百六十九歳ニシテ
ヨ 九百七十歳ニシテ
タ 九百七十一歳ニシテ
レ 九百七十二歳ニシテ
ソ 九百七十三歳ニシテ
ツ 九百七十四歳ニシテ
ネ 九百七十五歳ニシテ
ナ 九百七十六歳ニシテ
ラ 九百七十七歳ニシテ
ム 九百七十八歳ニシテ
ウ 九百七十九歳ニシテ
ヰ 九百八十歳ニシテ
ノ 九百八十一歳ニシテ
オ 九百八十二歳ニシテ
ク 九百八十三歳ニシテ
ヤ 九百八十四歳ニシテ
マ 九百八十五歳ニシテ
ケ 九百八十六歳ニシテ
フ 九百八十七歳ニシテ
コ 九百八十八歳ニシテ
エ 九百八十九歳ニシテ
テ 九百九十歳ニシテ
ア 九百九十一歳ニシテ
サ 九百九十二歳ニシテ
キ 九百九十三歳ニシテ
ユ 九百九十四歳ニシテ
メ 九百九十五歳ニシテ
ミ 九百九十六歳ニシテ
シ 九百九十七歳ニシテ
ヱ 九百九十八歳ニシテ
ヒ 九百九十九歳ニシテ
モ 一千歳ニシテ
セ 一千一歳ニシテ
ス 一千二歳ニシテ
京 一千三歳ニシテ
ン 一千四歳ニシテ
ハ 一千五歳ニシテ
ヤ 一千六歳ニシテ
ヒ 一千七歳ニシテ
ロ 一千八歳ニシテ
ハ 一千九歳ニシテ
ニ 一千十歳ニシテ
ホ 一千十一歳ニシテ
ヘ 一千十二歳ニシテ
ト 一千十三歳ニシテ
チ 一千十四歳ニシテ
リ 一千十五歳ニシテ
ヌ 一千十六歳ニシテ
ル 一千十七歳ニシテ
ヲ 一千十八歳ニシテ
ワ 一千十九歳ニシテ
カ 一千二十歳ニシテ
ヨ 一千二十一歳ニシテ
タ 一千二十二歳ニシテ
レ 一千二十三歳ニシテ
ソ 一千二十四歳ニシテ
ツ 一千二十五歳ニシテ
ネ 一千二十六歳ニシテ
ナ 一千二十七歳ニシテ
ラ 一千二十八歳ニシテ
ム 一千二十九歳ニシテ
ウ 一千三十歳ニシテ
ヰ 一千三十一歳ニシテ
ノ 一千三十二歳ニシテ
オ 一千三十三歳ニシテ
ク 一千三十四歳ニシテ
ヤ 一千三十五歳ニシテ
マ 一千三十六歳ニシテ
ケ 一千三十七歳ニシテ
フ 一千三十八歳ニシテ
コ 一千三十九歳ニシテ
エ 一千四十歳ニシテ
テ 一千四十一歳ニシテ
ア 一千四十二歳ニシテ
サ 一千四十三歳ニシテ
キ 一千四十四歳ニシテ
ユ 一千四十五歳ニシテ
メ 一千四十六歳ニシテ
ミ 一千四十七歳ニシテ
シ 一千四十八歳ニシテ
ヱ 一千四十九歳ニシテ
ヒ 一千五十歳ニシテ
モ 一千五十一歳ニシテ
セ 一千五十二歳ニシテ
ス 一千五十三歳ニシテ
京 一千五十四歳ニシテ
ン 一千五十五歳ニシテ
ハ 一千五十六歳ニシテ
ヤ 一千五十七歳ニシテ
ヒ 一千五十八歳ニシテ
ロ 一千五十九歳ニシテ
ハ 一千六十歳ニシテ
ニ 一千六十一歳ニシテ
ホ 一千六十二歳ニシテ
ヘ 一千六十三歳ニシテ
ト 一千六十四歳ニシテ
チ 一千六十五歳ニシテ
リ 一千六十六歳ニシテ
ヌ 一千六十七歳ニシテ
ル 一千六十八歳ニシテ
ヲ 一千六十九歳ニシテ
ワ 一千七十歳ニシテ
カ 一千七十一歳ニシテ
ヨ 一千七十二歳ニシテ
タ 一千七十三歳ニシテ
レ 一千七十四歳ニシテ
ソ 一千七十五歳ニシテ
ツ 一千七十六歳ニシテ
ネ 一千七十七歳ニシテ
ナ 一千七十八歳ニシテ
ラ 一千七十九歳ニシテ
ム 一千八十歳ニシテ
ウ 一千八十一歳ニシテ
ヰ 一千八十二歳ニシテ
ノ 一千八十三歳ニシテ
オ 一千八十四歳ニシテ
ク 一千八十五歳ニシテ
ヤ 一千八十六歳ニシテ
マ 一千八十七歳ニシテ
ケ 一千八十八歳ニシテ
フ 一千八十九歳ニシテ
コ 一千九十歳ニシテ
エ 一千九十一歳ニシテ
テ 一千九十二歳ニシテ
ア 一千九十三歳ニシテ
サ 一千九十四歳ニシテ
キ 一千九十五歳ニシテ
ユ 一千九十六歳ニシテ
メ 一千九十七歳ニシテ
ミ 一千九十八歳ニシテ
シ 一千九十九歳ニシテ
ヱ 二千歳ニシテ
ヒ 二千一歳ニシテ
モ 二千二歳ニシテ
セ 二千三歳ニシテ
ス 二千四歳ニシテ
京 二千五歳ニシテ
ン 二千六歳ニシテ
ハ 二千七歳ニシテ
ヤ 二千八歳ニシテ
ヒ 二千九歳ニシテ
ロ 二千十歳ニシテ
ハ 二千十一歳ニシテ
ニ 二千十二歳ニシテ
ホ 二千十三歳ニシテ
ヘ 二千十四歳ニシテ
ト 二千十五歳ニシテ
チ 二千十六歳ニシテ
リ 二千十七歳ニシテ
ヌ 二千十八歳ニシテ
ル 二千十九歳ニシテ
ヲ 二千二十歳ニシテ
ワ 二千二十一歳ニシテ
カ 二千二十二歳ニシテ
ヨ 二千二十三歳ニシテ
タ 二千二十四歳ニシテ
レ 二千二十五歳ニシテ
ソ 二千二十六歳ニシテ
ツ 二千二十七歳ニシテ
ネ 二千二十八歳ニシテ
ナ 二千二十九歳ニシテ
ラ 二千三十歳ニシテ
ム 二千三十一歳ニシテ
ウ 二千三十二歳ニシテ
ヰ 二千三十三歳ニシテ
ノ 二千三十四歳ニシテ
オ 二千三十五歳ニシテ
ク 二千三十六歳ニシテ
ヤ 二千三十七歳ニシテ
マ 二千三十八歳ニシテ
ケ 二千三十九歳ニシテ
フ 二千四十歳ニシテ
コ 二千四十一歳ニシテ
エ 二千四十二歳ニシテ
テ 二千四十三歳ニシテ
ア 二千四十四歳ニシテ
サ 二千四十五歳ニシテ
キ 二千四十六歳ニシテ
ユ 二千四十七歳ニシテ
メ 二千四十八歳ニシテ
ミ 二千四十九歳ニシテ
シ 二千五十歳ニシテ
ヱ 二千五十一歳ニシテ
ヒ 二千五十二歳ニシテ
モ 二千五十三歳ニシテ
セ 二千五十四歳ニシテ
ス 二千五十五歳ニシテ
京 二千五十六歳ニシテ
ン 二千五十七歳ニシテ
ハ 二千五十八歳ニシテ
ヤ 二千五十九歳ニシテ
ヒ 二千六十歳ニシテ
ロ 二千六十一歳ニシテ
ハ 二千六十二歳ニシテ
ニ 二千六十三歳ニシテ
ホ 二千六十四歳ニシテ
ヘ 二千六十五歳ニシテ
ト 二千六十六歳ニシテ
チ 二千六十七歳ニシテ
リ 二千六十八

もにより死この一人に由て王たらんにハ況て恩寵と義の豊かに受
る者ハ一人のイエスキリストにより生に於て王たらさらんや是故に一
の罪より罪せらるゝことの凡の人に及し由く一の義より義とせられ命
を授こと亦凡の人に及べり　られ一人の過に由て多く罪人とせられしと知
く一人の従に由て多く義とせらるべし　律法を立るハ罪を増んが為なり然
ども罪の増さるところにハ恵し益増り　これ罪の死をして治れる如く恵も義
終に至イエスキリストに賴て永生に至らせんが為なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さ罪に十字架に釘らるゝまゝ罪の身滅て今より罪に殺ざる様なるを我信
七 ゝ知ら ゝ死し者ゝ罪より解さるれば彼
八 た彼と偕に生んことを信ず キリスト死より甦りて復また死しまた彼
九 に主とならざるを知り 其ら ゝ死しゝ罪について一次死しなり ゝ生るゝ時
十 は神に生るなり 如此なんぢらも我身の主イエスキリストにより罪に彼
十一 て ゝ自ら死る者また神に対て ゝ生る者なりと思ふべし 是故に罪を
十二 死べき肉体に王たらしめて其慾に聞ふ勿れ また罪の肢体を
十三 なして罪に献ること勿れ死より甦りし者の如く己を神に献また義物を
十四 義の器となして神に献ふべし 蓋なんぢら恩の下に在て律法の下に在ざ
十五 れば罪ゝ罪に主となることを勿れ 然らば如何われら恩の下に在て
十六 律法の下に在ざるが故に罪を犯すべきか赦す なんぢらなを識げ誰とな
十七 り聞に従ふとも其聞ふ所の従たるを知ざるか或ゝ罪の従となれば死に及び
十八 或ゝ聞の従となれば義に及ばん 然ども我神に感謝す蓋ゝ罪の従だ

十八　ゆひいちぐわんの願ひられも所の願に心よりは願ひて　罪より願ひられ願
十九　願ひなれば　願ひ人の言ふ通て言るへ願ひ願ひよりは願ひなり願
二十　願ひの願ひなり願ひ願ひの願ひなり願に示りも知く今また其願ひなる
二十一　ほけ願の願ひなりて願ひに願るべし　願なんぢら願の願なりし時にへ願
二十二　に願ひられ願　願願いよ願る所のことを願のし其さき願の願を願たりし
二十三　や願願のことの願へ願なり　願願今願より願ひられて願の願ひなりたれば
二十四　願願に願るの願を願たり願ちの願へ願　願なり　願願願願願願願願願
二十五　へ願願願願願願願願願

五 わたし死より脱るれ給ひし者に由て誰の為に果な結ばんとなり　われら肉
に在し時は律法に因る罪の慾われらの肢体に動きて死の為に果な結べり
六 然るに今われらを縛る者に於て死たれば律法より拂はれ復文の新様に
由て霊の新様に由て仕ふ○　七 然らば我何を言べきか律法を罪なるや
か律法に由ざれば我罪の知るを能ずとなし夫律法に貪るなかれと言ざれ
八 ば我貪慾の罪たるを識ざる也　然して罪へ誡の機に乗て我中に各様の貪
慾を起せり律法なければ罪へ死るものなり　九 われ嘗て律法なくして生れ
十 ざる時ありたりて罪へ活かへり我へ死り　十一 然て人を生さん為の誡へ反て是
十二 われを死しむる者となれり　何となれば罪へ誡の機に乗て我を誘し其誡
十三 をもて我を殺せり　十四 されば律法へ聖し誡へ聖く義かつ善なり○　然れ
ども善なるものわれを死しむるか然す死しむるものへ罪なり罪へ善なるものなりて我を
死しむれば其罪たること現れん為に誡に由て罪の為しきことへ極るる也
十五 されば律法へ霊なるものと我肉へ如されど我へ肉なる者にして罪の下に売わ

レ 原文〇十七

十五　かり　汝わが行ふ所の杯に我も之を飲ことせず我が受ふ所のもの我これを
十六　行ず我が受む所のもの我これを行ずはなり　若われ受ざる所の者を行ふ時
十七　の洗法なるべし　然らば今より之を行ふ者の我に命ずる我に居ところ汝
十八　なり　汝なる者の我すなわち我に居ざるを知ちの聞ふ所われにあるも
十九　者を行ふことを得ざれば　われ聞ふ所の者の之を行はず故て聞ざる所
二十　の聞の之を行へり　若われ聞ざる所を行ふときの之を行ふ者の我に命ず
二一　我に聞そこみの聞なり　二（是故に我者をけんと欲ふときに自と我にきる
二二　ものの欲あるを愛ゆ）　汝われ西なる人に欲てわの洗法を知めども
二三　わが教に他の法ありて我の法を聞ひ我んに教にして我が教の中にきる
二四　聞の法に我のするを欲れり　嗚われ聞き人なる者　この聞より我もが
二五　ほんの者ハ聞ゆ　二六　汝わ自らの法をスリストとなるが故りあれは聞や知
二七　れ我みづからのにてわ汝の法に聞ひ我にてわ師の法に聞ふなり
二八　聞ふ聞ふ是故に　ソトルトリストに至るわ聞せらるる事なり　二九　ちの師と民

の法へイエスキリストに由て罪と死の法より我を免せり也 三 それ律法の肉に由て弱りの為ざる所を約翰爲たまへり即ち己の子を罪の肉の形と同じくして罪のために罪し肉に於て罪を罰しぬ 四 それ律法の義を肉に從わざる我に成ひて行ふ我等に成せんが為なり 五 肉に從ふ者は肉の事を念ひ靈に從ふ者は靈の事を念ふ 六 肉の事を念ふは死なり靈の事を念ふは生なり 七 肉の事を念ふは神に敵なり故なり 八 肉にある者は神の心に適ふこと能へず 九 もしふこと能ざるに因り 十 肉にある者は神の心に適ふこと能へず 九 もし神の靈なんぢらに住は肉に在て靈に在んなんぢらキリストの靈なき者はキリストに屬ざる者なり 十 若キリスト爾等に在は肉體は罪に因て死靈は義に因て活なり 十一 若イエスを死より甦らしめし者の靈爾等に住はキリストを死より甦らしめし者は其なんぢらに住ところの靈を以て爾等の死べき身體をも生すべし 十二 是故に兄弟よ我等肉の為に負ところ有て肉に從ひ我る者に非ず 十三 もし肉に從ひ我なは死べし若も靈に由て身體の行爲を殺まは

生べし　凡そ神の靈に導かるゝ者へ皆すなはち神の子なり　聖靈を受し
[十五]
[十六]
[十七]
[十八]
[十九]
[二十]
[二十一]
[二十二]
[二十三]
[二十四]
[二十五]
[二十六]
[二十七]
[二十八]
[二十九]
[三十]
[三十一]
[三十二]
[三十三]
[三十四]
[三十五]
[三十六]
[三十七]
[三十八]
[三十九]
[四十]
[四十一]
[四十二]
[四十三]
[四十四]
[四十五]
[四十六]
[四十七]
[四十八]
[四十九]
[五十]
[五十一]
[五十二]
[五十三]
[五十四]
[五十五]
[五十六]
[五十七]
[五十八]
[五十九]
[六十]
[六十一]
[六十二]
[六十三]
[六十四]
[六十五]
[六十六]
[六十七]
[六十八]
[六十九]
[七十]
[七十一]
[七十二]
[七十三]
[七十四]
[七十五]
[七十六]
[七十七]
[七十八]
[七十九]
[八十]
[八十一]
[八十二]
[八十三]
[八十四]
[八十五]
[八十六]
[八十七]
[八十八]
[八十九]
[九十]
[九十一]
[九十二]
[九十三]
[九十四]
[九十五]
[九十六]
[九十七]
[九十八]
[九十九]
[百]
[百一]
[百二]
[百三]
[百四]
[百五]
[百六]
[百七]
[百八]
[百九]
[百十]
[百十一]
[百十二]
[百十三]
[百十四]
[百十五]
[百十六]
[百十七]
[百十八]
[百十九]
[百二十]
[百二十一]
[百二十二]
[百二十三]
[百二十四]
[百二十五]
[百二十六]
[百二十七]
[百二十八]
[百二十九]
[百三十]
[百三十一]
[百三十二]
[百三十三]
[百三十四]
[百三十五]
[百三十六]
[百三十七]
[百三十八]
[百三十九]
[百四十]
[百四十一]
[百四十二]
[百四十三]
[百四十四]
[百四十五]
[百四十六]
[百四十七]
[百四十八]
[百四十九]
[百五十]
[百五十一]
[百五十二]
[百五十三]
[百五十四]
[百五十五]
[百五十六]
[百五十七]
[百五十八]
[百五十九]
[百六十]
[百六十一]
[百六十二]
[百六十三]
[百六十四]
[百六十五]
[百六十六]
[百六十七]
[百六十八]
[百六十九]
[百七十]
[百七十一]
[百七十二]
[百七十三]
[百七十四]
[百七十五]
[百七十六]
[百七十七]
[百七十八]
[百七十九]
[百八十]
[百八十一]
[百八十二]
[百八十三]
[百八十四]
[百八十五]
[百八十六]
[百八十七]
[百八十八]
[百八十九]
[百九十]
[百九十一]
[百九十二]
[百九十三]
[百九十四]
[百九十五]
[百九十六]
[百九十七]
[百九十八]
[百九十九]
[二百]
[二百一]
[二百二]
[二百三]
[二百四]
[二百五]
[二百六]
[二百七]
[二百八]
[二百九]
[二百十]
[二百十一]
[二百十二]
[二百十三]
[二百十四]
[二百十五]
[二百十六]
[二百十七]
[二百十八]
[二百十九]
[二百二十]
[二百二十一]
[二百二十二]
[二百二十三]
[二百二十四]
[二百二十五]
[二百二十六]
[二百二十七]
[二百二十八]
[二百二十九]
[二百三十]
[二百三十一]
[二百三十二]
[二百三十三]
[二百三十四]
[二百三十五]
[二百三十六]
[二百三十七]
[二百三十八]
[二百三十九]
[二百四十]
[二百四十一]
[二百四十二]
[二百四十三]
[二百四十四]
[二百四十五]
[二百四十六]
[二百四十七]
[二百四十八]
[二百四十九]
[二百五十]
[二百五十一]
[二百五十二]
[二百五十三]
[二百五十四]
[二百五十五]
[二百五十六]
[二百五十七]
[二百五十八]
[二百五十九]
[二百六十]
[二百六十一]
[二百六十二]
[二百六十三]
[二百六十四]
[二百六十五]
[二百六十六]
[二百六十七]
[二百六十八]
[二百六十九]
[二百七十]
[二百七十一]
[二百七十二]
[二百七十三]
[二百七十四]
[二百七十五]
[二百七十六]
[二百七十七]
[二百七十八]
[二百七十九]
[二百八十]
[二百八十一]
[二百八十二]
[二百八十三]
[二百八十四]
[二百八十五]
[二百八十六]
[二百八十七]
[二百八十八]
[二百八十九]
[二百九十]
[二百九十一]
[二百九十二]
[二百九十三]
[二百九十四]
[二百九十五]
[二百九十六]
[二百九十七]
[二百九十八]
[二百九十九]
[三百]
[三百一]
[三百二]
[三百三]
[三百四]
[三百五]
[三百六]
[三百七]
[三百八]
[三百九]
[三百十]
[三百十一]
[三百十二]
[三百十三]
[三百十四]
[三百十五]
[三百十六]
[三百十七]
[三百十八]
[三百十九]
[三百二十]
[三百二十一]
[三百二十二]
[三百二十三]
[三百二十四]
[三百二十五]
[三百二十六]
[三百二十七]
[三百二十八]
[三百二十九]
[三百三十]
[三百三十一]
[三百三十二]
[三百三十三]
[三百三十四]
[三百三十五]
[三百三十六]
[三百三十七]
[三百三十八]
[三百三十九]
[三百四十]
[三百四十一]
[三百四十二]
[三百四十三]
[三百四十四]
[三百四十五]
[三百四十六]
[三百四十七]
[三百四十八]
[三百四十九]
[三百五十]
[三百五十一]
[三百五十二]
[三百五十三]
[三百五十四]
[三百五十五]
[三百五十六]
[三百五十七]
[三百五十八]
[三百五十九]
[三百六十]
[三百六十一]
[三百六十二]
[三百六十三]
[三百六十四]
[三百六十五]
[三百六十六]
[三百六十七]
[三百六十八]
[三百六十九]
[三百七十]
[三百七十一]
[三百七十二]
[三百七十三]
[三百七十四]
[三百七十五]
[三百七十六]
[三百七十七]
[三百七十八]
[三百七十九]
[三百八十]
[三百八十一]
[三百八十二]
[三百八十三]
[三百八十四]
[三百八十五]
[三百八十六]
[三百八十七]
[三百八十八]
[三百八十九]
[三百九十]
[三百九十一]
[三百九十二]
[三百九十三]
[三百九十四]
[三百九十五]
[三百九十六]
[三百九十七]
[三百九十八]
[三百九十九]
[四百]
[四百一]
[四百二]
[四百三]
[四百四]
[四百五]
[四百六]
[四百七]
[四百八]
[四百九]
[四百十]
[四百十一]
[四百十二]
[四百十三]
[四百十四]
[四百十五]
[四百十六]
[四百十七]
[四百十八]
[四百十九]
[四百二十]
[四百二十一]
[四百二十二]
[四百二十三]
[四百二十四]
[四百二十五]
[四百二十六]
[四百二十七]
[四百二十八]
[四百二十九]
[四百三十]
[四百三十一]
[四百三十二]
[四百三十三]
[四百三十四]
[四百三十五]
[四百三十六]
[四百三十七]
[四百三十八]
[四百三十九]
[四百四十]
[四百四十一]
[四百四十二]
[四百四十三]
[四百四十四]
[四百四十五]
[四百四十六]
[四百四十七]
[四百四十八]
[四百四十九]
[五百]
[五百一]
[五百二]
[五百三]
[五百四]
[五百五]
[五百六]
[五百七]
[五百八]
[五百九]
[五百十]
[五百十一]
[五百十二]
[五百十三]
[五百十四]
[五百十五]
[五百十六]
[五百十七]
[五百十八]
[五百十九]
[五百二十]
[五百二十一]
[五百二十二]
[五百二十三]
[五百二十四]
[五百二十五]
[五百二十六]
[五百二十七]
[五百二十八]
[五百二十九]
[五百三十]
[五百三十一]
[五百三十二]
[五百三十三]
[五百三十四]
[五百三十五]
[五百三十六]
[五百三十七]
[五百三十八]
[五百三十九]
[五百四十]
[五百四十一]
[五百四十二]
[五百四十三]
[五百四十四]
[五百四十五]
[五百四十六]
[五百四十七]
[五百四十八]
[五百四十九]
[六百]
[六百一]
[六百二]
[六百三]
[六百四]
[六百五]
[六百六]
[六百七]
[六百八]
[六百九]
[六百十]
[六百十一]
[六百十二]
[六百十三]
[六百十四]
[六百十五]
[六百十六]
[六百十七]
[六百十八]
[六百十九]
[六百二十]
[六百二十一]
[六百二十二]
[六百二十三]
[六百二十四]
[六百二十五]
[六百二十六]
[六百二十七]
[六百二十八]
[六百二十九]
[六百三十]
[六百三十一]
[六百三十二]
[六百三十三]
[六百三十四]
[六百三十五]
[六百三十六]
[六百三十七]
[六百三十八]
[六百三十九]
[六百四十]
[六百四十一]
[六百四十二]
[六百四十三]
[六百四十四]
[六百四十五]
[六百四十六]
[六百四十七]
[六百四十八]
[六百四十九]
[七百]
[七百一]
[七百二]
[七百三]
[七百四]
[七百五]
[七百六]
[七百七]
[七百八]
[七百九]
[七百十]
[七百十一]
[七百十二]
[七百十三]
[七百十四]
[七百十五]
[七百十六]
[七百十七]
[七百十八]
[七百十九]
[七百二十]
[七百二十一]
[七百二十二]
[七百二十三]
[七百二十四]
[七百二十五]
[七百二十六]
[七百二十七]
[七百二十八]
[七百二十九]
[七百三十]
[七百三十一]
[七百三十二]
[七百三十三]
[七百三十四]
[七百三十五]
[七百三十六]
[七百三十七]
[七百三十八]
[七百三十九]
[七百四十]
[七百四十一]
[七百四十二]
[七百四十三]
[七百四十四]
[七百四十五]
[七百四十六]
[七百四十七]
[七百四十八]
[七百四十九]
[八百]
[八百一]
[八百二]
[八百三]
[八百四]
[八百五]
[八百六]
[八百七]
[八百八]
[八百九]
[八百十]
[八百十一]
[八百十二]
[八百十三]
[八百十四]
[八百十五]
[八百十六]
[八百十七]
[八百十八]
[八百十九]
[八百二十]
[八百二十一]
[八百二十二]
[八百二十三]
[八百二十四]
[八百二十五]
[八百二十六]
[八百二十七]
[八百二十八]
[八百二十九]
[八百三十]
[八百三十一]
[八百三十二]
[八百三十三]
[八百三十四]
[八百三十五]
[八百三十六]
[八百三十七]
[八百三十八]
[八百三十九]
[八百四十]
[八百四十一]
[八百四十二]
[八百四十三]
[八百四十四]
[八百四十五]
[八百四十六]
[八百四十七]
[八百四十八]
[八百四十九]
[九百]
[九百一]
[九百二]
[九百三]
[九百四]
[九百五]
[九百六]
[九百七]
[九百八]
[九百九]
[九百十]
[九百十一]
[九百十二]
[九百十三]
[九百十四]
[九百十五]
[九百十六]
[九百十七]
[九百十八]
[九百十九]
[九百二十]
[九百二十一]
[九百二十二]
[九百二十三]
[九百二十四]
[九百二十五]
[九百二十六]
[九百二十七]
[九百二十八]
[九百二十九]
[九百三十]
[九百三十一]
[九百三十二]
[九百三十三]
[九百三十四]
[九百三十五]
[九百三十六]
[九百三十七]
[九百三十八]
[九百三十九]
[九百四十]
[九百四十一]
[九百四十二]
[九百四十三]
[九百四十四]
[九百四十五]
[九百四十六]
[九百四十七]
[九百四十八]
[九百四十九]
[十百]
[十百一]
[十百二]
[十百三]
[十百四]
[十百五]
[十百六]
[十百七]
[十百八]
[十百九]
[十百十]
[十百十一]
[十百十二]
[十百十三]
[十百十四]
[十百十五]
[十百十六]
[十百十七]
[十百十八]
[十百十九]
[十百二十]
[十百二十一]
[十百二十二]
[十百二十三]
[十百二十四]
[十百二十五]
[十百二十六]
[十百二十七]
[十百二十八]
[十百二十九]
[十百三十]
[十百三十一]
[十百三十二]
[十百三十三]
[十百三十四]
[十百三十五]
[十百三十六]
[十百三十七]
[十百三十八]
[十百三十九]
[十百四十]
[十百四十一]
[十百四十二]
[十百四十三]
[十百四十四]
[十百四十五]
[十百四十六]
[十百四十七]
[十百四十八]
[十百四十九]
[十百五十]
[十百五十一]
[十百五十二]
[十百五十三]
[十百五十四]
[十百五十五]
[十百五十六]
[十百五十七]
[十百五十八]
[十百五十九]
[十百六十]
[十百六十一]
[十百六十二]
[十百六十三]
[十百六十四]
[十百六十五]
[十百六十六]
[十百六十七]
[十百六十八]
[十百六十九]
[十百七十]
[十百七十一]
[十百七十二]
[十百七十三]
[十百七十四]
[十百七十五]
[十百七十六]
[十百七十七]
[十百七十八]
[十百七十九]
[十百八十]
[十百八十一]
[十百八十二]
[十百八十三]
[十百八十四]
[十百八十五]
[十百八十六]
[十百八十七]
[十百八十八]
[十百八十九]
[十百九十]
[十百九十一]
[十百九十二]
[十百九十三]
[十百九十四]
[十百九十五]
[十百九十六]
[十百九十七]
[十百九十八]
[十百九十九]
[二十百]
[二十百一]
[二十百二]
[二十百三]
[二十百四]
[二十百五]
[二十百六]
[二十百七]
[二十百八]
[二十百九]
[二十百十]
[二十百十一]
[二十百十二]
[二十百十三]
[二十百十四]
[二十百十五]
[二十百十六]
[二十百十七]
[二十百十八]
[二十百十九]
[二十百二十]
[二十百二十一]
[二十百二十二]
[二十百二十三]
[二十百二十四]
[二十百二十五]
[二十百二十六]
[二十百二十七]
[二十百二十八]
[二十百二十九]
[二十百三十]
[二十百三十一]
[二十百三十二]
[二十百三十三]
[二十百三十四]
[二十百三十五]
[二十百三十六]
[二十百三十七]
[二十百三十八]
[二十百三十九]
[二十百四十]
[二十百四十一]
[二十百四十二]
[二十百四十三]
[二十百四十四]
[二十百四十五]
[二十百四十六]
[二十百四十七]
[二十百四十八]
[二十百四十九]
[二十百五十]
[二十百五十一]
[二十百五十二]
[二十百五十三]
[二十百五十四]
[二十百五十五]
[二十百五十六]
[二十百五十七]
[二十百五十八]
[二十百五十九]
[二十百六十]
[二十百六十一]
[二十百六十二]
[二十百六十三]
[二十百六十四]
[二十百六十五]
[二十百六十六]
[二十百六十七]
[二十百六十八]
[二十百六十九]
[二十百七十]
[二十百七十一]
[二十百七十二]
[二十百七十三]
[二十百七十四]
[二十百七十五]
[二十百七十六]
[二十百七十七]
[二十百七十八]
[二十百七十九]
[二十百八十]
[二十百八十一]
[二十百八十二]
[二十百八十三]
[二十百八十四]
[二十百八十五]
[二十百八十六]
[二十百八十七]
[二十百八十八]
[二十百八十九]
[二十百九十]
[二十百九十一]
[二十百九十二]
[二十百九十三]
[二十百九十四]
[二十百九十五]
[二十百九十六]
[二十百九十七]
[二十百九十八]
[二十百九十九]
[三十百]
[三十百一]
[三十百二]
[三十百三]
[三十百四]
[三十百五]
[三十百六]
[三十百七]
[三十百八]
[三十百九]
[三十百十]
[三十百十一]
[三十百十二]
[三十百十三]
[三十百十四]
[三十百十五]
[三十百十六]
[三十百十七]
[三十百十八]
[三十百十九]
[三十百二十]
[三十百二十一]
[三十百二十二]
[三十百二十三]
[三十百二十四]
[三十百二十五]
[三十百二十六]
[三十百二十七]
[三十百二十八]
[三十百二十九]
[三十百三十]
[三十百三十一]
[三十百三十二]
[三十百三十三]
[三十百三十四]
[三十百三十五]
[三十百三十六]
[三十百三十七]
[三十百三十八]
[三十百三十九]
[三十百四十]
[三十百四十一]
[三十百四十二]
[三十百四十三]
[三十百四十四]
[三十百四十五]
[三十百四十六]
[三十百四十七]
[三十百四十八]
[三十百四十九]
[三十百五十]
[三十百五十一]
[三十百五十二]
[三十百五十三]
[三十百五十四]
[三十百五十五]
[三十百五十六]
[三十百五十七]
[三十百五十八]
[三十百五十九]
[三十百六十]
[三十百六十一]
[三十百六十二]
[三十百六十三]
[三十百六十四]
[三十百六十五]
[三十百六十六]
[三十百六十七]
[三十百六十八]
[三十百六十九]
[三十百七十]
[三十百七十一]
[三十百七十二]
[三十百七十三]
[三十百七十四]
[三十百七十五]
[三十百七十六]
[三十百七十七]
[三十百七十八]
[三十百七十九]
[三十百八十]
[三十百八十一]
[三十百八十二]
[三十百八十三]
[三十百八十四]
[三十百八十五]
[三十百八十六]
[三十百八十七]
[三十百八十八]
[三十百八十九]
[三十百九十]
[三十百九十一]
[三十百九十二]
[三十百九十三]
[三十百九十四]
[三十百九十五]
[三十百九十六]
[三十百九十七]
[三十百九十八]
[三十百九十九]
[四十百]
[四十百一]
[四十百二]
[四十百三]
[四十百四]
[四十百五]
[四十百六]
[四十百七]
[四十百八]
[四十百九]
[四十百十]
[四十百十一]
[四十百十二]
[四十百十三]
[四十百十四]
[四十百十五]
[四十百十六]
[四十百十七]
[四十百十八]
[四十百十九]
[四十百二十]
[四十百二十一]
[四十百二十二]
[四十百二十三]
[四十百二十四]
[四十百二十五]
[四十百二十六]
[四十百二十七]
[四十百二十八]
[四十百二十九]
[四十百三十]
[四十百三十一]
[四十百三十二]
[四十百三十三]
[四十百三十四]
[四十百三十五]
[四十百三十六]
[四十百三十七]
[四十百三十八]
[四十百三十九]
[四十百四十]
[四十百四十一]
[四十百四十二]
[四十百四十三]
[四十百四十四]
[四十百四十五]
[四十百四十六]
[四十百四十七]
[四十百四十八]
[四十百四十九]
[四十百五十]
[四十百五十一]
[四十百五十二]
[四十百五十三]
[四十百五十四]
[四十百五十五]
[四十百五十六]
[四十百五十七]
[四十百五十八]
[四十百五十九]
[四十百六十]
[四十百六十一]
[四十百六十二]
[四十百六十三]
[四十百六十四]
[四十百六十五]
[四十百六十六]
[四十百六十七]
[四十百六十八]
[四十百六十九]
[四十百七十]
[四十百七十一]
[四十百七十二]
[四十百七十三]
[四十百七十四]
[四十百七十五]
[四十百七十六]
[四十百七十七]
[四十百七十八]
[四十百七十九]
[四十百八十]
[四十百八十一]
[四十百八十二]
[四十百八十三]
[四十百八十四]
[四十百八十五]
[四十百八十六]
[四十百八十七]
[四十百八十八]
[四十百八十九]
[四十百九十]
[四十百九十一]
[四十百九十二]
[四十百九十三]
[四十百九十四]
[四十百九十五]
[四十百九十六]
[四十百九十七]
[四十百九十八]
[四十百九十九]
[五十百]
[五十百一]
[五十百二]
[五十百三]
[五十百四]
[五十百五]
[五十百六]
[五十百七]
[五十百八]
[五十百九]
[五十百十]
[五十百十一]
[五十百十二]
[五十百十三]
[五十百十四]
[五十百十五]
[五十百十六]
[五十百十七]
[五十百十八]
[五十百十九]
[五十百二十]
[五十百二十一]
[五十百二十二]
[五十百二十三]
[五十百二十四]
[五十百二十五]
[五十百二十六]
[五十百二十七]
[五十百二十八]
[五十百二十九]
[五十百三十]
[五十百三十一]
[五十百三十二]
[五十百三十三]
[五十百三十四]
[五十百三十五]
[五十百三十六]
[五十百三十七]
[五十百三十八]
[五十百三十九]
[五十百四十]
[五十百四十一]
[五十百四十二]
[五十百四十三]
[五十百四十四]
[五十百四十五]
[五十百四十六]
[五十百四十七]
[五十百四十八]
[五十百四十九]
[五十百五十]
[五十百五十一]
[五十百五十二]
[五十百五十三]
[五十百五十四]
[五十百五十五]
[五十百五十六]
[五十百五十七]
[五十百五十八]
[五十百五十九]
[五十百六十]
[五十百六十一]
[五十百六十二]
[五十百六十三]
[五十百六十四]
[五十百六十五]
[五十百六十六]
[五十百六十七]
[五十百六十八]
[五十百六十九]
[五十百七十]
[五十百七十一]
[五十百七十二]
[五十百七十三]
[五十百七十四]
[五十百七十五]
[五十百七十六]
[五十百七十七]
[五十百七十八]
[五十百七十九]
[五十百八十]
[五十百八十一]
[五十百八十二]
[五十百八十三]
[五十百八十四]
[五十百八十五]
[五十百八十六]
[五十百八十七]
[五十百八十八]
[五十百八十九]
[五十百九十]
[五十百九十一]
[五十百九十二]
[五十百九十三]
[五十百九十四]
[五十百九十五]
[五十百九十六]
[五十百九十七]
[五十百九十八]
[五十百九十九]
[六十百]
[六十百一]
[六十百二]
[六十百三]
[六十百四]
[六十百五]
[六十百六]
[六十百七]
[六十百八]
[六十百九]
[六十百十]
[六十百十一]
[六十百十二]
[六十百十三]
[六十百十四]
[六十百十五]
[六十百十六]
[六十百十七]
[六十百十八]
[六十百十九]
[六十百二十]
[六十百二十一]
[六十百二十二]
[六十百二十三]
[六十百二十四]
[六十百二十五]
[六十百二十六]
[六十百二十七]
[六十百二十八]
[六十百二十九]
[六十百三十]
[六十百三十一]
[六十百三十二]
[六十百三十三]
[六十百三十四]
[六十百三十五]
[六十百三十六]
[六十百三十七]
[六十百三十八]
[六十百三十九]
[六十百四十]
[六十百四十一]
[六十百四十二]
[六十百四十三]
[六十百四十四]
[六十百四十五]
[六十百四十六]
[六十百四十七]
[六十百四十八]
[六十百四十九]
[六十百五十]
[六十百五十一]
[六十百五十二]
[六十百五十三]
[六十百五十四]
[六十百五十五]
[六十百五十六]
[六十百五十七]
[六十百五十八]
[六十百五十九]
[六十百六十]
[六十百六十一]
[六十百六十二]
[六十百六十三]
[六十百六十四]
[六十百六十五]
[六十百六十六]
[六十百六十七]
[六十百六十八]
[六十百六十九]
[六十百七十]
[六十百七十一]
[六十百七十二]
[六十百七十三]
[六十百七十四]
[六十百七十五]
[六十百七十六]
[六十百七十七]
[六十百七十八]
[六十百七十九]
[六十百八十]
[六十百八十一]
[六十百八十二]
[六十百八十三]
[六十百八十四]
[六十百八十五]
[六十百八十六]
[六十百八十七]
[六十百八十八]
[六十百八十九]
[六十百九十]
[六十百九十一]
[六十百九十二]
[六十百九十三]
[六十百九十四]
[六十百九十五]
[六十百九十六]
[六十百九十七]
[六十百九十八]
[六十百九十九]
[七十百]
[七十百一]
[七十百二]
[七十百三]
[七十百四]
[七十百五]
[七十百六]
[七十百七]
[七十百八]
[七十百九]
[七十百十]
[七十百十一]
[七十百十二]
[七十百十三]
[七十百十四]
[七十百十五]
[七十百十六]
[七十百十七]
[七十百十八]
[七十百十九]
[七十百二十]
[七十百二十一]
[七十百二十二]
[七十百二十三]
[七十百二十四]
[七十百二十五]
[七十百二十六]
[七十百二十七]
[七十百二十八]
[七十百二十九]
[七十百三十]
[七十百三十一]
[七十百三十二]
[七十百三十三]
[七十百三十四]
[七十百三十五]
[七十百三十六]
[七十百三十七]
[七十百三十八]
[七十百三十九]
[七十百四十]
[七十百四十一]
[七十百四十二]
[七十百四十三]
[七十百四十四]
[七十百四十五]
[七十百四十六]
[七十百四十七]
[七十百四十八]
[七十百四十九]
[七十百五十]
[七十百五十一]
[七十百五十二]
[七十百五十三]
[七十百五十四]
[七十百五十五]
[七十百五十六]
[七十百五十七]
[七十百五十八]
[七十百五十九]
[七十百六十]
[七十百六十一]
[七十百六十二]
[七十百六十三]
[七十百六十四]
[七十百六十五]
[七十百六十六]
[七十百六十七]
[七十百六十八]
[七十百六十九]
[七十百七十]
[七十百七十一]
[七十百七十二]
[七十百七十三]
[七十百七十四]
[七十百七十五]
[七十百七十六]
[七十百七十七]
[七十百七十八]
[七十百七十九]
[七十百八十]
[七十百八十一]
[七十百八十二]
[七十百八十三]
[七十百八十四]
[七十百八十五]
[七十百八十六]
[七十百八十七]
[七十百八十八]
[七十百八十九]
[七十百九十]
[七十百九十一]
[七十百九十二]
[七十百九十三]
[七十百九十四]
[七十百九十五]
[七十百九十六]
[七十百九十七]
[七十百九十八]
[七十百九十九]
[八十百]
[八十百一]
[八十百二]
[八十百三]
[八十百四]
[八十百五]
[八十百六]
[八十百七]
[八十百八]
[八十百九]
[八十百十]
[八十百十一]
[八十百十二]
[八十百十三]
[八十百十四]
[八十百十五]
[八十百十六]
[八十百十七]
[八十百十八]
[八十百十九]
[八十百二十]
[八十百二十一]
[八十百二十二]
[八十百二十三]
[八十百二十四]
[八十百二十五]
[八十百二十六]
[八十百二十七]
[八十百二十八]
[八十百二十九]
[八十百三十]
[八十百三十一]
[八十百三十二]
[八十百三十三]
[八十百三十四]
[八十百三十五]
[八十百三十六]
[八十百三十七]
[八十百三十八]
[八十百三十九]
[八十百四十]
[八十百四十一]
[八十百四十二]
[八十百四十三]
[八十百四十四]
[八十百四十五]
[八十百四十六]
[八十百四十七]
[八十百四十八]
[八十百四十九]
[八十百五十]
[八十百五十一]
[八十百五十二]
[八十百五十三]
[八十百五十四]
[八十百五十五]
[八十百五十六]
[八十百五十七]
[八十百五十八]
[八十百五十九]
[八十百六十]
[八十百六十一]
[八十百六十二]
[八十百六十三]
[八十百六十四]
[八十百六十五]
[八十百六十六]
[八十百六十七]
[八十百六十八]
[八十百六十九]
[八十百七十]
[八十百七十一]
[八十百七十二]
[八十百七十三]
[八十百七十四]
[八十百七十五]
[八十百七十六]
[八十百七十七]
[八十百七十八]
[八十百七十九]
[八十百八十]
[八十百八十一]
[八十百八十二]
[八十百八十三]
[八十百八十四]
[八十百八十五]
[八十百八十六]
[八十百八十七]
[八十百八十八]
[八十百八十九]
[八十百九十]
[八十百九十一]
[八十百九十二]
[八十百九十三]
[八十百九十四]
[八十百九十五]
[八十百九十六]
[八十百九十七]
[八十百九十八]
[八十百九十九]
[九十百]
[九十百一]
[九十百二]
[九十百三]
[九十百四]
[九十百五]
[九十百六]
[九十百七]
[九十百八]
[九十百九]
[九十百十]
[九十百十一]
[九十百十二]
[九十百十三]
[九十百十四]
[九十百十五]
[九十百十六]
[九十百十七]
[九十百十八]
[九十百十九]
[九十百二十]
[九十百二十一]
[九十百二十二]
[九十百二十三]
[九十百二十四]
[九十百二十五]
[九十百二十六]
[九十百二十七]
[九十百二十八]
[九十百二十九]
[九十百三十]
[九十百三十一]
[九十百三十二]
[九十百三十三]
[九十百三十四]
[九十百三十五]
[九十百三十六]
[九十百三十七]
[九十百三十八]
[九十百三十九]
[九十百四十]
[九十百四十一]
[九十百四十二]
[九十百四十三]
[九十百四十四]
[九十百四十五]
[九十百四十六]
[九十百四十七]
[九十百四十八]
[九十百四十九]
[九十百五十]
[九十百五十一]
[九十百五十二]
[九十百五十三]
[九十百五十四]
[九十百五十五]
[九十百五十六]
[九十百五十七]
[九十百五十八]
[九十百五十九]
[九十百六十]
[九十百六十一]
[九十百六十二]
[九十百六十三]
[九十百六十四]
[九十百六十五]
[九十百六十六]
[九十百六十七]
[九十百六十八]
[九十百六十九]
[九十百七十]
[九十百七十一]
[九十百七十二]
[九十百七十三]
[九十百七十四]
[九十百七十五]
[九十百七十六]
[九十百七十七]
[九十百七十八]
[九十百七十九]
[九十百八十]
[九十百八十一]
[九十百八十二]
[九十百八十三]
[九十百八十四]
[九十百八十五]
[九十百八十六]
[九十百八十七]
[九十百八十八]
[九十百八十九]
[九十百九十]
[九十百九十一]
[九十百九十二]
[九十百九十三]
[九十百九十四]
[九十百九十五]
[九十百九十六]
[九十百九十七]
[九十百九十八]
[九十百九十九]
[百百]
[百百一]
[百百二]
[百百三]
[百百四]
[百百五]
[百百六]
[百百七]
[百百八]
[百百九]
[百百十]
[百百十一]
[百百十二]
[百百十三]
[百百十四]
[百百十五]
[百百十六]
[百百十七]
[百百十八]
[百百十九]
[百百二十]
[百百二十一]
[百百二十二]
[百百二十三]
[百百二十四]
[百百二十五]
[百百二十六]
[百百二十七]
[百百二十八]
[百百二十九]
[百百三十]
[百百三十一]
[百百三十二]
[百百三十三]
[百百三十四]
[百百三十五]
[百百三十六]
[百百三十七]
[百百三十八]
[百百三十九]
[百百四十]
[百百四十一]
[百百四十二]
[百百四十三]
[百百四十四]
[百百四十五]
[百百四十六]
[百百四十七]
[百百四十八]
[百百四十九]
[百百五十]
[百百五十一]
[百百五十二]
[百百五十三]
[百百五十四]
[百百五十五]
[百百五十六]
[百百五十七]
[百百五十八]
[百百五十九]
[百百六十]
[百百六十一]
[百百六十二]
[百百六十三]
[百百六十四]
[百百六十五]
[百百六十六]
[百百六十七]
[百百六十八]
[百百六十九]
[百百七十]
[百百七十一]
[百百七十二]
[百百七十三]
[百百七十四]
[百百七十五]
[百百七十六]
[百百七十七]
[百百七十八]
[百百七十九]
[百百八十]
[百百八十一]
[百百八十二]
[百百八十三]
[百百八十四]
[百百八十五]
[百百八十六]
[百百八十七]
[百百八十八]
[百百八十九]
[百百九十]
[百百九十一]
[百百九十二]
[百百九十三]
[百百九十四]
[百百九十五]
[百百九十六]
[百百九十七]
[百百九十八]
[百百九十九]
[百百百]
[百百百一]
[百百百二]
[百百百三]
[百百百四]
[百百百五]
[百百百六]
[百百百七]
[百百百八]
[百百百九]
[百百百十]
[百百百十一]
[百百百十二]
[百百百十三]
[百百百十四]
[百百百十五]
[百百百十六]
[百百百十七]
[百百百十八]
[百百百十九]
[百百百二十]
[百百百二十一]
[百百百二十二]
[百百百二十三]
[百百百二十四]
[百百百二十五]
[百百百二十六]
[百百百二十七]
[百百百二十八]
[百百百二十九]
[百百百三十]
[百百百三十一]
[百百百三十二]
[百百百三十三]
[百百百三十四]
[百百百三十五]
[百百百三十六]
[百百百三十七]
[百百百三十八]
[百百百三十九]
[百百百四十]
[百百百四十一]
[百百百四十二]
[百百百四十三]
[百百百四十四]
[百百百四十五]
[百百百四十六]
[百百百四十七]
[百百百四十八]
[百百百四十九]
[百百百五十]
[百百百五十一]
[百百百五十二]
[百百百五十三]
[百百百五十四]
[百百百五十五]
[百百百五十六]
[百百百五十七]
[百百百五十八]
[百百百五十九]
[百百百六十]
[百百百六十一]
[百百百六十二]
[百百百六十三]
[百百百六十四]
[百百百六十五]
[百百百六十六]
[百百百六十七]
[百百百六十八]
[百百百六十九]
[百百百七十]
[百百百七十一]
[百百百七十二]
[百百百七十三]
[百百百七十四]
[百百百七十五]
[百百百七十六]
[百百百七十七]
[百百百七十八]
[百百百七十九]
[百百百八十]
[百百百八十一]
[百百百八十二]
[百百百八十三]
[百百百八十四]
[百百百八十五]
[百百百八十六]
[百百百八十七]
[百百百八十八]
[百百百八十九]
[百百百九十]
[百百百九十一]
[百百百九十二]
[百百百九十三]
[百百百九十四]
[百百百九十五]
[百百百九十六]
[百百百九十七]
[百百百九十八]
[百百百九十九]
[百百百百]
[百百百百一]
[百百百百二]
[百百百百三]
[百百百百四]
[百百百百五]
[百百百百六]
[百百百百七]
[百百百百八]
[百百百百九]
[百百百百十]
[百百百百十一]
[百百百百十二]
[百百百百十三]
[百百百百十四]
[百百百百十五]
[百百百百十六]
[百百百百十七]
[百百百百十八]
[百百百百十九]
[百百百百二十]
[百百百百二十一]
[百百百百二十二]
[百百百百二十三]
[百百百百二十四]
[百百百百二十五]
[百百百百二十六]
[百百百百二十七]
[百百百百二十八]
[百百百百二十九]
[百百百百三十]
[百百百百三十一]
[百百百百三十二]
[百百百百三十三]
[百百百百三十四]
[百百百百三十五]
[百百百百三十六]
[百百百百三十七]
[百百百百三十八]
[百百百百三十九]
[百百百百四十]
[百百百百四十一]
[百百百百四十二]
[百百百百四十三]
[百百百百四十四]
[百百百百四十五]
[百百百百四十六]
[百百百百四十七]
[百百百百四十八]
[百百百百四十九]
[百百百百五十]
[百百百百五十一]
[百百百百五十二]
[百百百百五十三]
[百百百百五十四]
[百百百百五十五]
[百百百百五十六]
[百百百百五十七]
[百百百百五十八]
[百百百百五十九]
[百百百百六十]
[百百百百六十一]
[百百百百六十二]
[百百百百六十三]
[百百百百六十四]
[百百百百六十五]
[百百百百六十六]
[百百百百六十七]
[百百百百六十八]
[百百百百六十九]
[百百百百七十]
[百百百百七十一]
[百百百百七十二]
[百百百百七十三]
[百百百百七十四]
[百百百百七十五]
[百百百百七十六]
[百百百百七十七]
[百百百百七十八]
[百百百百七十九]
[百百百百八十]
[百百百百八十一]
[百百百百八十二]
[百百百百八十三]
[百百百百八十四]
[百百百百八十五]
[百百百百八十六]
[百百百百八十七]
[百百百百八十八]
[百百百百八十九]
[百百百百九十]
[百百百百九十一]
[百百百百九十二]
[百百百百九十三]
[百百百百九十四]
[百百百百九十五]
[百百百百九十六]
[百百百百九十七]
[百百百百九十八]
[百百百百九十九]
[百百百百百]
[百百百百百一]
[百百百百百二]
[百百百百百三]
[百百百百百四]
[百百百百百五]
[百百百百百六]
[百百百百百七]
[百百百百百八]
[百百百百百九]
[百百百百百十]
[百百百百百十一]
[百百百百百十二]
[百百百百百十三]
[百百百百百十四]
[百百百百百十五]
[百百百百百十六]
[百百百百百十七]
[百百百百百十八]
[百百百百百十九]
[百百百百百二十]
[百百百百百二十一]
[百百百百百二十二]
[百百百百百二十三]
[百百百百百二十四]
[百百百百百二十五]
[百百百百百二十六]
[百百百百百二十七]
[百百百百百二十八]
[百百百百百二十九]
[百百百百百三十]
[百百百百百三十一]
[百百百百百三十二]
[百百百百百三十三]
[百百百百百三十四]
[百百百百百三十五]
[百百百百百三十六]
[百百百百百三十七]
[百百百百百三十八]
[百百百百百三十九]
[百百百百百四十]
[百百百百百四十一]
[百百百百百四十二]
[百百百百百四十三]
[百百百百百四十四]
[百百百百百四十五]
[百百百百百四十六]
[百百百百百四十七]
[百百百百百四十八]
[百百百百百四十九]
[百百百百百五十]
[百百百百百五十一]
[百百百百百五十二]
[百百百百百五十三]
[百百百百百五十四]
[百百百百百五十五]
[百百百百百五十六]
[百百百百百五十七]
[百百百百百五十八]
[百百百百百五十九]
[百百百百百六十]
[百百百百百六十一]
[百百百百百六十二]
[百百百百百六十三]
[百百百百百六十四]
[百百百百百六十五]
[百百百百百六十六]
[百百百百百六十七]
[百百百百百六十八]
[百百百百百六十九]
[百百百百百七十]
[百百百百百七十一]
[百百百百百七十二]
[百百百百百七十三]
[百百百百百七十四]
[百百百百百七十五]
[百百百百百七十六]
[百百百百百七

六か或は死か刑罰なる事は是われら終日なんぢの爲に死に付され居られんとする羊の如くせらるゝ也と錄されたるが如し

七然ども我等なほ愛めて勝あり

八凡て此等の事に勝て餘りあり

九そは死あるひは生あるひは天使あるひは權あるひは今あるものあるひは來たるものあるひは高きあるひは深きあるひは他の被造物にも我おいエスキリストに顯れたる神の愛より離らすることを能ざるものなるなり

一我キリストに屬る者なれば我が言ふ眞にして僞なし且わが良心聖に感じて我に大なる憂ある事を證するに堪ざるの痛ある事を云ふ

二三汝わが同族なるユダヤ人なるイスラエルの人なり神に子となる事また榮光また

四約束また律法を立られも事また祭儀また約束ありたれども

五祖かれらが先祖なり肉體に從へばかれらより基督出たれ

六神は萬物の上に在て世世よりほめられたまふべき神なりアメン

七今いへる所へ神の言の

れりと雖にも未だ嘗てイスラエルより出る者ごとごとくイスラエルに非ずして
家ブラハムの苗裔なれバとて悉く其子たるに非ず惟イサクより出る
者なんちの苗裔と稱らるべしと錄されたり　即ち肉に由て子たる者これ
らハ神の子たるに非ず惟約束に由て子たる者ハ其苗裔とせらるゝ由約束
いたらハ我來らんサラに男子あるべしと是約束の言なり　其耳なら ず亦
リベカ我供の先祖イサク一人に從ひて二子を孕しとき　其子いまだ生れ
ず未善惡を行ざれど神の選たまひし意旨ハ變ることなく行に由て召に由
を彰さんとて　長子ハ幼子に屈んとリベカに言たまへり　錄して我ハヤ
コブを愛しエサウを惡めりと有ハ如し　然らハ我輩なにを言んや神に不
義なる所あるや有ことなし　神モーセに曰われ憐んと欲ふ者を憐み
に憐んと欲ふ者を憐む　然ハ願ふ者にも願る者にも由ず惟めぐむ所
の神に由り　聖書の中に神パロに云なんちを立るハ特に汝を我が權
威に顯し又わが名を遍く全世界に傳んが爲なりと　然し論へり　然ハ神ハ憐

十九　聞んと欲ふ者をあはれみ則慈にせんと欲ふ者を嘗慈にせり　十八　終に嘗われ
に言ん神何ぞなほ人を責るや　誤か其首に置ふことなき羊んと　二十　時人よ誤
ぬなハハ誤は首置ふや迷れる後へ迷ひ者に向て眼を開に我に從へ　二十一　誤
ひさぎさいはんか　二十二　「四人へ同じ所なりて一の羊を失く一の羊を失く迷るの
捉あるに測すや　二十三　もし誤怒を彩し其論力を用さん等に誤亡に陷れる羊を求
く誤怒ことみなし　二十四　また誤光に現じめ自し時誤の羊に其愛の豊盛なるを
前さんとせハ我時何の言ことを有んや　二十五　この時誤の羊ら我傳されし期の
者へ誤ムダヤ人のみならず赤異邦人の中よりも召れたり　時ゼヤの者
に「我へ我民ならざりし者を我民と呼へ愛せざりし者を愛する者と謂ん　二十六
又なんぢら我民ならずと謂れたりし其處の處等も誤時の子と謂らるべし
と言るが如し　二十七　イザヤもイスラエルに就て呼りほけるへイスラエルの子
の數へ海の沙の如なれども殺るまるへたゞ餘ならん　二十八　神の義なるもて高
言を略之を滅盡るべし蓋ゼめ誤ふ時の事へ主既かに地に行ふべけれ

ハ也　さた前にイヤヤ書て者義のおわれらに有を蓋ざりしならハ我輩
ヤ　も已にソドムの如ならん又ゴモラに同からんと有が如し　然ハ我輩何と
か言ん義を追求めざる異邦人へ義を得たり是さなへち信仰に由ところの
義なり　然と義の律法を追求めしイスラエルハ義の律法に及ざりき　こ
此へ如何なる故ぞ彼等へ信仰に由ず行に由て追求めんとさしほどに躓石
に躓たれハ也　躓ところの石　また躓　躓ケンに躓んと見て之を信
ずるものハ辱しめられしと誤されたるが如し

第十一章

兄弟よ我心に願ふ所と神に祈る所へイスラエルの救れんこと也　こ
れ彼等が神に熱のなることへ我証す　然とも其熱ハ智識に由に非ず　彼等
へ神の義を識ず己の義を立んことを求て神の義に服へざる也　見て信ず
るものの義とせられん為にキリストハ律法の終となれり　こもリも律法に由
る義を指てハ之を行ふ者これに由て生を得べしと録したり　然も信仰に
由る義へ如此いへり心にキリストを尋ぬ下らん為に神か天に昇らんと

七　言こと勿れ　又キリストを死し者の中より選び選らん爲に諸か陰府に降
八　らんと言こと勿れ　然れば何と言るゲ誰か陰に近く限の口にあり厚の心に
九　ありと是すなわち我傳が宣る所の信仰の道なり　蓋もし限口にて主イエ
十　スを認へし又なんぢ心にて神の使を死より起らしゝなら救るべし　それ
十一　人へ心に信じて義とせられ口に認へして救るなり　十二　聖書に凡て彼を信する
十二　者へ辱められじと云り　十三　ユダヤ人とヤラシヤ人の別なし蓋すべての者の主へ
十四　豐一なれば多り凡て之を願求る者にへ恩み豐饒にも　十四　凡て主の名を願求
十四　る者へ救るべし　十五　然れば求ざる者を何で願求ることなき者へ未だ聞
十五　ざる者を何で信ずることを得んや未だ宣るものあらずば何で聞ことを得ん
十五　や　もし遣されずば何で宣ることを得んや録して和平なる言を宣たる者
十六　厚を宣る者の其足へ美しき哉とあるが如し　然れど悉く福音を聽しにあ
十七　らずイザヤ曰て主よ我傳が宣る所を信ずしるへ誰か予を云り　然れば信仰
十八　へ聞よりいで聞ところへ神の道に由るなり　われ問ん彼等へ未だ聞ざり

イ 詩十九〇八 太二十四 四一〇八 ロ 申三二〇十一 二

十九 しか限り天然へ編く世界に出るの言へ地の極にまで及べり　我また問ん

イスラエルへ知ざりしか知り給にエルを云われ民に棄ざる者をもて賜

二十 な嫉妬せん又惡なる民をもて愚なる民らせんと　イヤヤ得ることなく認

ハ 申六十五〇二 ニ

ける人へ我を尋ざりしものに我あらへり問ざりしものに我あらわれ　又イスラ

エルに就てハ我終日手を伸て靜り順へざる民に向へりと云し也

ホ 詩六十四〇十 四 箴一〇二 ヘ 申三二〇二 ト 箴三〇十

一 然ば我いへん神へ其民を棄しや決て然らず例をたれば我も亦イ

スラエルの人アブラハムの苗裔ベニヤミンの支族なり　神へ其民じめ知給

ふところの民を棄ざりき聞ずエリヤについて聖書に載たる事を知ざるか

チ 出三十二〇十 リ 詩四〇九 ヌ 詩四〇十七 ル 詩四〇十七

三 彼イスラエルを時に訴いひけるハ　主よ預言者を殺し爾の祭

壇を毀てり見われ遺れるに又わが命をも求んとする由　然るに何と神へ

四 答給ひし予われ自己の爲にバアルに膝ブかざる者七千人を存せりと　是

五 の如く今もなほ恩の選に由て遺れる者あり　もし恩に由ば功にハ由ざる

なり若されば恩へ恩たらず若し功に由ば恩に非ず若されば功へ功たらざ

七　る臣　然れども彼を召んイスラエルの其求る所を得ず選れし者は之を得て餘
八　れし者は頑ぜられたり　時は今日に至るまで彼等に眠きの見ざる目閉ま
九　ざる耳を予ふと錄されしが如し　ダビデ曰ひけるは彼等が宴遊かへりて
十　機羅となれ網羅となれ躓きとなれ其報となれ　彼等の目を暗して見しめ
十一　か其背を常に屈しめよ　然れども我いへん彼等が躓の躓に及しか然らず反て
　　彼等が躓失により救は異邦人に及べり是イスラエルを激ませんが爲なり
十二　若かれらの躓失世の富となり其損異邦人の富となるならんには況て彼等の
十三　滿なるに於てをや　我なんぢら異邦人に言ん我は異邦人の使徒なるが故に
十四　我職を敬重ず　近むは骨肉の者を動かして彼らを嫉しめて其中より數人を救
十五　んかためなり　若かれらの棄らるること世の和睦となるならば其收納るるは
十六　死たる者の中より生るに譬からず　もし麦粉のパンきよからば凡のパ
十七　ンも亦潔しもしきよからば枝も亦潔かるべし　もし數の枝を折れたるに
　　野の橄欖なるうれを其中に接れ共に其根により共に其汁味を受るなら

十八　パ　屋の枝に向ひて言る勿れ言合はこるさも郎の枝を保す枝ハ言を保て
十九　り　然パ言枝の折れたるハ我が誤れん事なりと言ん　然る後事の折れた
二十　るハ不信仰により言が立るハ信仰に因なれパ誤ることなかたき戒慎と　言
二一　然いし屋根の枝をおそれおそれパ言をいはさし　然パ神の恩を恩な
二二　るさと思ふ武勇なることハ聞者に聞れの言　恩に成パ其恩ハ言に在ん
二三　然されパ今なんちも敬畏するべし　もし不信仰に成すパ後事も亦誤れん約ハ
二四　聞これを誤れパ也　聞もし来うとれつきたる野の樹枝より成れ其生命
二五　に反て言語樹に誤れたらんにハ死て屋根の枝ハ己が其枝に誤れざらん
二六　事　兄弟よ我言葉が自己を言とする事知らん事に此奥義を知ざるを成と
二七　す所ち自分のイエスキリストの福音に成らん事なり　然
二八　てイエスキリストの人間く成るを待んと為して敵者ハ言葉より出てケンブの
二九　不幸を以除かん　且ちの時と成す時に我がれらに立ん所の言ハ此者と有
三〇　パ如し　聞者に成てハ言葉の信の時に成事ハ慎まれ慎に成てハ免言の

故によりて彼等の愛せらるゝ道ろへ神の聖と召へ給ふことなきに因
て　なんぢらへ誡に背しが今彼等が背るに由て福音の恵を受たるが如く
今かれらの背るへ福音の恵を蒙るに因て亦恵を受んため自ら
へ悪人を捕えんが為に　これを不服の中に入かこめり　あま神の智と識
の富へ深かな其審判へ測り難く其路路へ窮れ難し　誰か主の心を知し我
か我と共に謀ることを為しや　誰か先かれに施て其報を受んや　うへ萬
物へ彼より出かれに依かれに帰れば　なり　願くへ世々永遠にあれアメン

一　二　三　四　五

聖約聖書　約バ兄弟よ我神の慈恵をして願ひに勧るへ汝身体を聖
潔にして活る祭物ならしめ　神に献よ是汝の霊的の聖なり　二　又この世に倣ふ
勿れ　汝心の変化によりて　汝の何なるか善き　神の旨かつ善にして悦ぶべき旨を知んが為に心を新にせよ　三　我
うくる所の恩に倣て　汝等各人に告ん　心を高り思を思すこと勿れ　神の各人
に賜りたる信仰の量に従ひて　謹に思べし　即ち我等一体に多の肢ア
れども皆その用を同うせざるが如く　各人キリストに於て一体たれば

たがひに其敵たる也　敵ハ飢る所の食に養て各〻臨な其にせり或ハ渴
言あらハ盥漱の量に飲ひて飽ひなしし　或ハ旅寄あらハ其接待をなし或
ハ敵對なすものハ其敵對なしし　敵對をなす者ハ其敵對なしし敵對なな
す者ハ答なく能こし　報酬をなす者ハ報らす法め敬愛をなす者ハ敬びて敬
むべし　笑ハ笑ハること如れ哭ハ哭ハ　兄弟の愛をもて互に愛し
　驕慢なりて相敬り　勤て怠らす心を勇まして主に事へ　望て喜び患難に
ハ　敵對を忍こし　聖徒の困乏を扶助し旅人を敬愛にせよ　詛言なす者
を祝し之を祝して詛ふべからす　喜ぶ者と共に喜び哭む者と共に哭むべ
し　相互に意を同うし傲大志をなす　屈て卑賤に附よ　又自己を賢とする勿
れ　惡をもて惡に報る勿れ　衆人の善とする所を心に配て之をなし　行得
べき所ハ力を盡して人々と睦親むべし　わが愛する者よ其仇を報るなか
れ　猶きて主の怒を待ち　ハ　怒りの仇を復すハ我に在われ
必ず之を報んとあれハ也　是故に　汝の仇も飢なハ之に食ハせ若も渴か

が之に欲せよ聞卽此するに熱誠なる故の言に殺なり　二　なんぢ惡に對るゴ紀れ殺なんて惡に讐べし

（詩篇四十一）おのれ敵となる者に向て人を賣ふべし　聖書より引ける語なく

一　月ゴ者ところの敵へ敵のふたまふ所なれイ也　是故に惡に對いいいい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

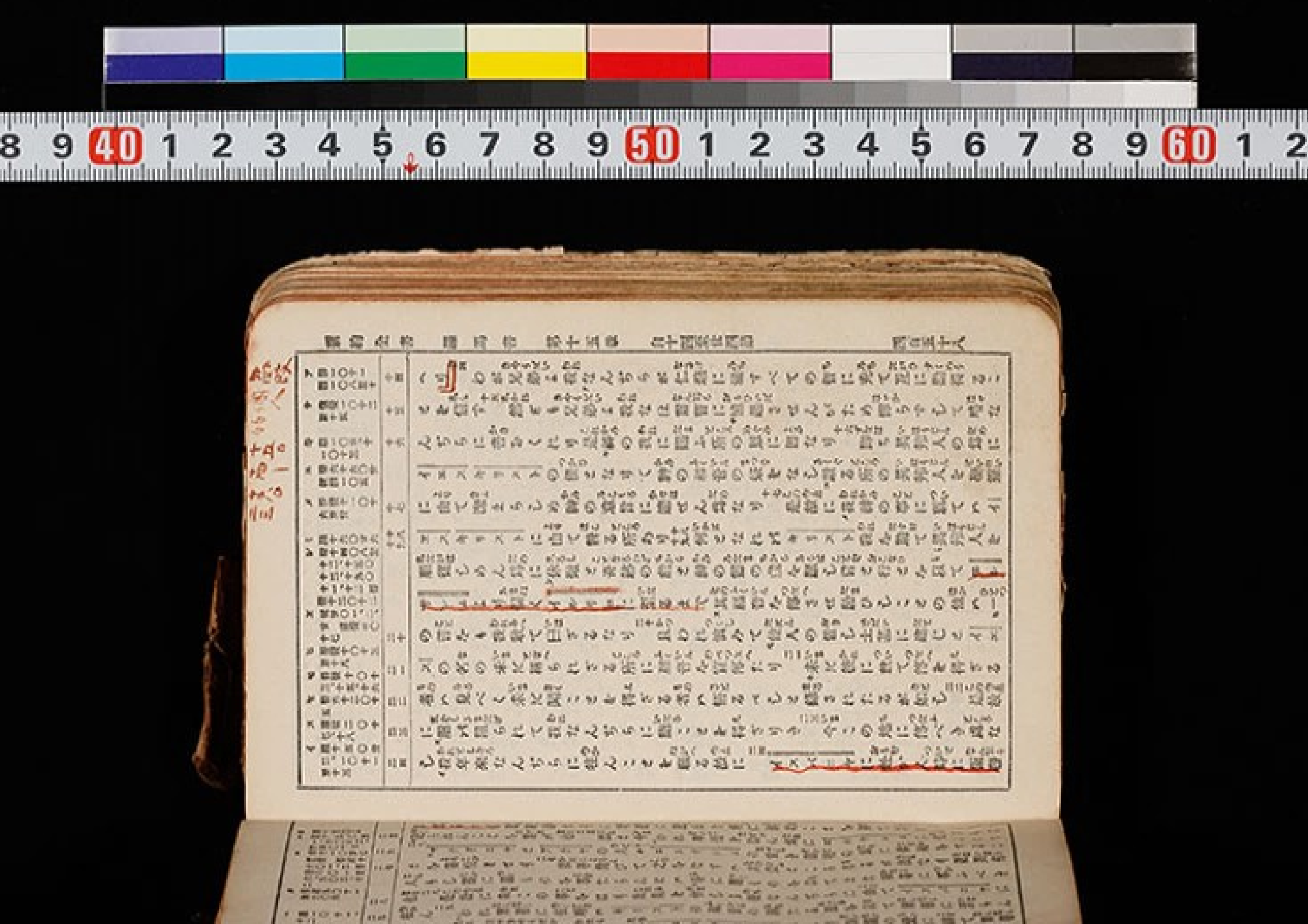
六　日を守る者も主の爲に守り日を守らざる者し主の爲に守らず食ふ者も
　　主の爲に食へり蓋神に謝する事をすれ共なり食へざる者も主の爲に食へ
七　ず此また神に謝する事をせり　我等のうち己が爲に生るものなし
八　己が爲に死るものなし　我われらが生るも主の爲に生この世に歌へ或
　　あるひは死るも我等はみな主のものなり　夫キリストの死て復生しへ即ち
九　生者と死者の主とならん爲なり　蓋なんぞ其兄弟を審判するや何ぞ其兄
十　弟を蔑視るや我等は皆キリストの審判に立べき者なり　十二蓋して主の曰た
十一　へるに我は活る神すべての膝は我が前に屈り凡の舌は我を讃美すべし
十二　と有が如し　是故に我等各〳〵己の事を神に報ふべし　然は我等たが
十三　ひに審判することなかれ寧み兄弟の前に躓あるひは碍を置さらん
　　ことを定むべし　我は主イエスに由て凡の物穢がらざるなきを知かつ之
十四　を信ず然ども人もし物を穢へりと思へば其人に於ては即ち穢がらざる也　蓋もし
十五　食物の爲に兄弟を愁めば其行ふところ愛の道に合へすキリスト彼のた

十八 めに死給ひたれば、罪、食物に関して我を誘すこと勿れ。罪贖の義を以て人
十九 に誘るることを為たまへ。ちの神の国へ食に拘ずして聖霊と和と義とに由
二十 る歓喜なり。此の如くしてキリストに事る者は神の心に適へた人に善と
二十一 せらるゝ也。是故に我等人と和睦せんことを相互に為んことを図
二十二 求べし。食物に関て神の成る所を壊こと勿れ。凡の物みな潔し。然れども之を
二十三 食ふて人を躓かする者には惡しとならん。肉を食ふ酒をのむ何事に由て兄
の兄弟を倒し或は躓かせ或は脆弱するに宜らざるは。なんぢ信あるか。己
これを神の前に守り其事とする所を以て自ら宣判する事なき者は福た
り。疑ひ食へば罪に定められる。是信仰に由て食へざれば也。すべて信
仰に由てせざる者は罪なり

第十五章

一 我等強き者は弱き者の脆弱を忍で己のみに悅ばざるべ
二 からず。我等各の隣を進んために善をして之を悅ば
三 すべし。キリストすら自己のみを悅ばず。なぜなれば聖書なんぢを謗る者の怒

神へ我に及べりと録されし如し　四　彼自より録されたる所へ留められ
て聖者の忍耐と慰藉との資に頼て望を得させん爲に録せる也　五　忍耐と安
慰を予ふる神の聖意にイエスキリストを效たがひに心を同うする事を予
て　聖意なして心を一にし口を一にして神すなわち我等の主イエスキリスト
の父を讃美し歌しめ給へんことを願へり　六　是故にキリスト神を讃ん爲に
我等を納るが如く聖意も互に納べし　七　我いへん神の眞理の爲にイエスキ
リストへ割禮の役となり先祖に約束し給ひしことを堅固せり　八　また異邦
人し其憐憫に由て神を崇む爲して是故に我異邦人の中に在て汝を讃また
聖の名を讃美すべしと有が如しゃ　九　また異邦人と主の民と同に喜ぶことを
爲と云り　十　「異邦人よ主を喜ふべし民よ主を共に喜ぶべしと云り　十一　又イ
ザヤ云らくエスセイの根めさし異邦人を治めんと爲もの歌らんさて異邦人
みな之に頼んと　十二　望を予ふる神の聖意として忍耐の益に由ろの望を以に
せんが爲に聖意の勢力より起る望の望を充しめ給はんことを願



に試るべし新約聖書に曰ほ少童に語ることを得て久なんぢらに
遮られんことを望べし　然と今われ聖靈を助んが爲にエルサレムに往んとす
マケドニヤとアカヤの人々エルサレムの貧き聖徒の爲に供給をすること
を喜ばせり　彼等悅びて之をなすのみ以てところ有るが故なり蓋異邦
人もし靈に關ものを享たらんにへ身に關ものを以てまた彼等に事ふべき
也　是故に我この事をはり此果を付しまく後なんぢらに由てイスパニヤに
往ん　われ聖靈に往時のキリストの福音の滿たる量を以て聖靈に至らん
ことを知り　兄弟よ我等の主イエスキリストにより聖靈の愛に縛て聖靈
に對む願くは我と共に力を竭して我ために神に祈ることを爲よ　願わが
ユダヤにある不信者より脫かり且エルサレムに赴く供事を聖徒の心に適
せ　また神の許に願ひ歡びて聖靈に賴り能に安息を得んがため也　平安
の神なんぢら衆人と偕に在さんことを願ふアメン

第十六章　ケンクレアにある教會の執事なる貴婦の紹介フエベを聖靈に

二 聞む　なんぢら聖徒の相ふべき如く主に聞て彼を納れ　なんぢらの要る所へ之を助よ
彼は我も多くの人を助けまた我をも助く　エ　プリスカとアクラとに安を問
三 かれらはイエスキリストに聞て我と共に働く者なり　四 又わが命の爲に己
の頸を伸わけて我を救ひたる者なり　異邦人の見の教會もまた彼等に感謝
せり　五 又その家にある教會にも安を問へ　また我が愛する所のエパイネトに
六 安を問へ　かれはアシアに於てキリストの初に結べる實なり　七 我儕の爲に多
の苦勞をせしマリアに安を問へ　また我と同に囚人となりし我が親族なる
アンドロニコとユニヤに安を問へ　かれら使徒等の中に名譽ある者なり我
八 に先てキリストに居し者なり　九 キリストに在て我が愛するアンピリア
ト　十 に安を問へ　キリストに聞て我と共に働くウルバノと又わが愛するスタ
キに安を問へ　十一 キリストに於て試驗なるアペレに安を問へ　アリストブロの家
十二 の者に安を問へ　わが親族なるヘロデオンに安を問へ　ナルキソの家なる主に
十三 在る者等に安を問へ　十二 ツルパイナとツルポサに安をさへ彼等は主に於て苦

勞せし女なり又愛せらるゝペルシーに安を問かれへ主に為て多く苦勞せし女なり　主に選れし[illegible]と其母とに安を問かれ彼等へ即ち我親たり

アスキリト、ガリオン、ペレマ、パトロバ、ヘルメ、また彼等と群にある兄弟に安を問　ピロロゴ、ユリヤ、ネレヤと其妹、またオルンパ、及び彼等と群なる諸の聖徒に安き問　冒書きよき接吻をして互に安を問キリストの諸の教會なんぢらに安を問り　兄弟こ我なんぢらに勸む凡そ冒書が來る所の教に反きて事を分たせ又躓がする者を視とめて之を避よ　我の如きあへ我等の主イエスキリストに服せず己の腹につかふる者なり又言を巧にし聞ひて賞揚なる者の心を欺くなり　然ど冒書の順從ること衆人に傳聞たれば我なんぢらの爲に喜べり又なんぢらが善い事に慧くして惡に疎くあらんを願ふ　平安の神速に撒旦を足下に碎てサタンを速に碎くべし我等の主イエスキリストの恩なんぢらと共にあるテモテ　我が同工ルキ、ヤソン、ソシパテロより冒書に安を問り　三なる我が書記ルキ、ヤソン、ソシパテロより冒書に安を問り

[illegible]キリストに於て[illegible]に安を問　我と[illegible]ス聖書に
安を問ふ己の[illegible]エスキリストまた[illegible]ト聖書に安を問ふ　[illegible]教会の主
イエスキリストの[illegible]なんぢらと[illegible]に在んことを願ふアメン　[illegible]の[illegible]さ
[illegible]ひ[illegible]ひ[illegible]ひ